

2019年10月消費税増税に関する自主調査 (5月調査分)



調査実施背景

2012年8月、消費税関連法案が成立。2014年4月に消費税が5%から8%に変更。

10%への引き上げは、2015年10月、17年4月の2度の延期を経て、現在、2019年10月に現行の8%から10%への増税が予定されている。

増税による経済的影響の緩和政策

経済財政諮問会議において、
前回増税時の影響を踏まえた、消費税引き上げ後の
経済への影響緩和策が複数実施される

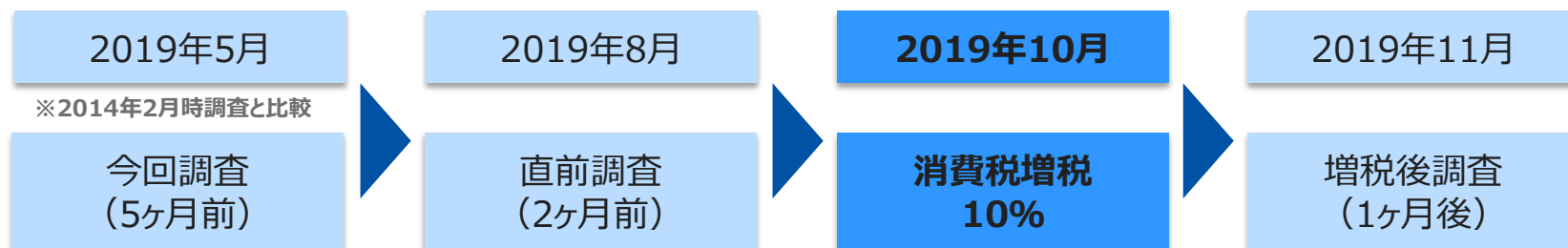
幼児教育・保育無償化、軽減税率制度、
自動車・住宅購入時対応 など

キャッシュレス社会の実現に向けた動き

中小小売業利用時のキャッシュレス決済利用時に
最大5%のポイントを付与

事業者へは、決済端末導入や決済手数料の補助

<調査実施のタイミング>



※本レポートの第2部では、「消費税増税に関するソーシャルデータ分析」として、Twitterをはじめとした、SNSでの消費税増税関連のキーワードの発信状況を時系列でチェック。対象ワードとしては、「消費税増税」および「消費」もしくは「増税」等を含む投稿を対象として抽出

目次

【第1部】消費税増税に関する意識調査	P 4
■ 調査概要	P 5
■ 調査結果の要約	P 6
■ 調査結果の詳細	P 14
■ 調査票	P 35
 【第2部】消費税増税に関するソーシャルデータ分析	 P 42
■ 調査概要	P 43
■ 分析結果	P 44
・ 話題量推移	P 45
・ メディア別投稿数	P 46
・ 軽減税率関連施策トピック別投稿数推移	P 47
・ 最もRTされた投稿トップ10	P 48
・ 頻出用語分析	P 49
・ 投稿ピックアップ	P 50

【第1部】

消費税増税に関する意識調査

2019年5月実施



調査概要

- 調査目的 : 消費税増税が5ヶ月後に予定されている中、増税前の買いだめ意識や、増税後の購買意識の変化、各政策の認知やそれによる影響について、現時点における消費意識を調査する。
- 調査対象 : マクロミルモニタ 20～69歳の男女
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 2019年5月16日（木）～5月17日（金）
- 有効回答数 : 1,034サンプル
- 調査実施機関 : 株式会社マクロミル

■割付 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代
男性	82	102	120	99	114
女性	79	100	118	100	120

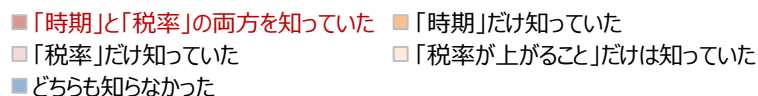
調査結果の要約

増税認知状況と増税前の購買意識

- ✓ 消費増税に対する認知状況は『「時期」と「税率」両方認知者』が8割、『なんらか認知者』は96%に上り、高い認知率がみられる。
- ✓ 増税前までの購入予定は、「国内旅行」「趣味・レジャー用品」「生活家電（冷蔵庫、洗濯機など）」が上位。
※5月～9月までの購入について聞いており、季節商材が多く回答された事がうかがわれる。
- ✓ 買いだめ予定は、「ティッシュ・トイレットペーパー」が最も高く、「シャンプー・リンス」「洗濯用洗剤」などの項目が比較的高めである。

増税認知状況(Q6)

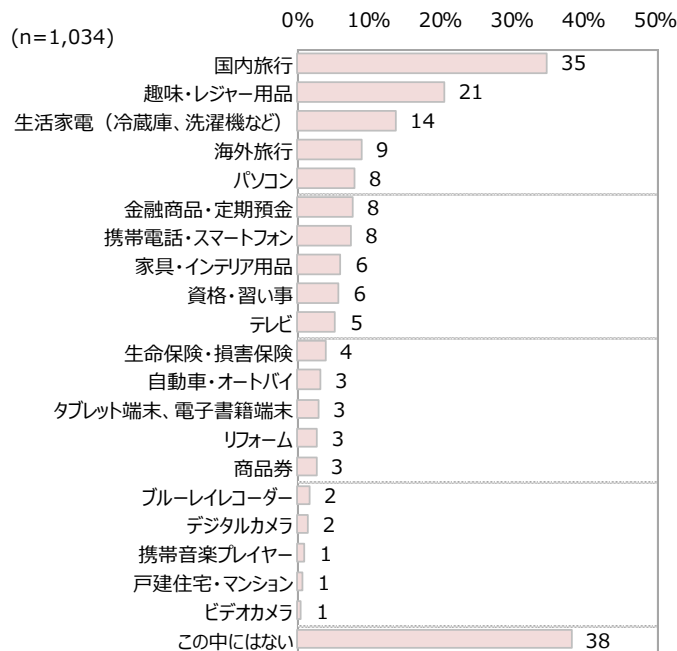
(n=1,034)



なんらか認知 96% (「時期」と「税率」の両方を知っていた) ~ (「税率が上がること」だけは知っていた)

増税前までの購入予定(Q3)

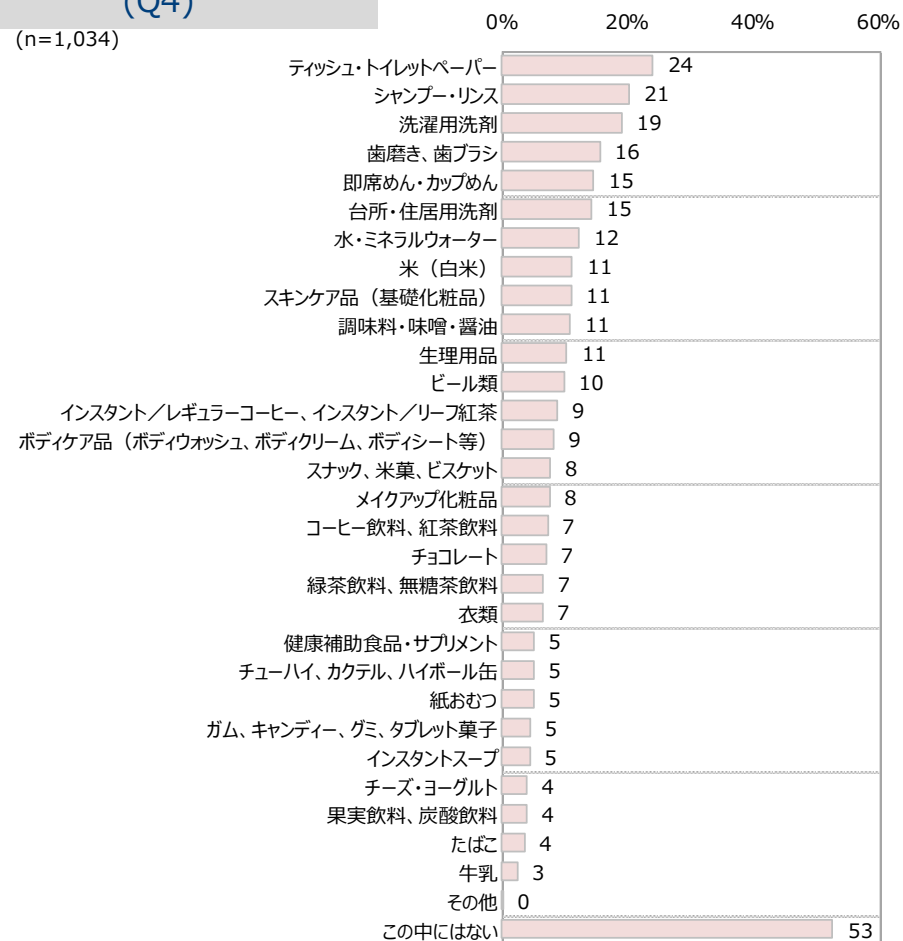
(n=1,034)



※降順ソート

増税前までの買いだめ予定(Q4)

(n=1,034)



※降順ソート

増税後の消費イメージ

前回調査（14年2月）比較

- ✓ 支出が減と考えられているのは、
「外食」「衣料品・服飾費」「交際費」「教養娯楽費」など、比較的切り詰めやすい項目でイメージされている。
- ✓ 支出が増えと考えられているのは、
「食料品」「交通費・ガソリン代」「光熱・水道費」など、利用を抑えることが難しい項目でイメージされている。

増税後の消費イメージ(Q5)

※各項目1ヶ月以内に支払った人ベース

■ 支出増 □ 今と変わらない ■ 支出減

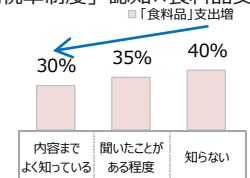
支出減 差分
19年5月-
14年2月

		n=				
食料品	2014年2月	(940)	44%	48%	8%	2.4
	2019年5月	(908)	35%	55%	10%	
外食	2014年2月	(782)	20%	57%	23%	4.9
	2019年5月	(770)	21%	51%	28%	
家賃・住宅ローン	2014年2月	(462)	18%	80%	2%	0.3
	2019年5月	(446)	13%	85%	3%	
光熱・水道費	2014年2月	(701)	48%	45%	7%	-0.8
	2019年5月	(691)	32%	62%	6%	
家具・家事用品	2014年2月	(374)	31%	54%	16%	-0.8
	2019年5月	(354)	29%	56%	15%	
衣料品・服飾費	2014年2月	(577)	25%	53%	22%	-0.7
	2019年5月	(545)	26%	53%	21%	
医療費	2014年2月	(556)	29%	65%	6%	0.2
	2019年5月	(504)	22%	72%	6%	
交通費・ガソリン代	2014年2月	(836)	41%	53%	6%	1.5
	2019年5月	(776)	32%	60%	8%	
通信費	2014年2月	(721)	31%	63%	5%	1.8
	2019年5月	(710)	25%	68%	7%	
教育費	2014年2月	(181)	38%	54%	8%	-5.1
	2019年5月	(220)	24%	73%	3%	
教養娯楽費	2014年2月	(281)	30%	57%	13%	2.2
	2019年5月	(240)	26%	58%	15%	
交際費	2014年2月	(537)	23%	61%	17%	1.2
	2019年5月	(490)	23%	59%	18%	
定期預金	2014年2月	(189)	10%	72%	19%	-5.5
	2019年5月	(176)	5%	82%	13%	
その他の金融商品 (株、国債など)	2014年2月	(109)	19%	68%	13%	-6.5
	2019年5月	(126)	10%	84%	6%	
保険	2014年2月	(451)	14%	84%	2%	2.4
	2019年5月	(520)	13%	82%	5%	

■ 前回の増税前調査 (2014年2月) との比較

- ✓ 増税後の消費イメージは、支出が減と考えられている「支出減」において「外食」が前回より約5pt減少で最も大きく、消費の抑制感が出る項目となっている。
- ✓ 「支出増」（増税によって支出が増えざるを得ないものとして回答されていると考えられる）は、「食料品」「光熱・水道費」「交通費・ガソリン代」「教育費」で前回より減少しており、現時点では前回調査時よりも落ち着いている様子。
軽減税率制度に対する認知が高いほど「食料品」の支出増は減少している。（下図）

「軽減税率制度」認知×食料品支出増



※支出増(「大幅に増えると思う」+「やや増えると思う」)

※支出減(「大幅に減ると思う」+「やや減ると思う」)

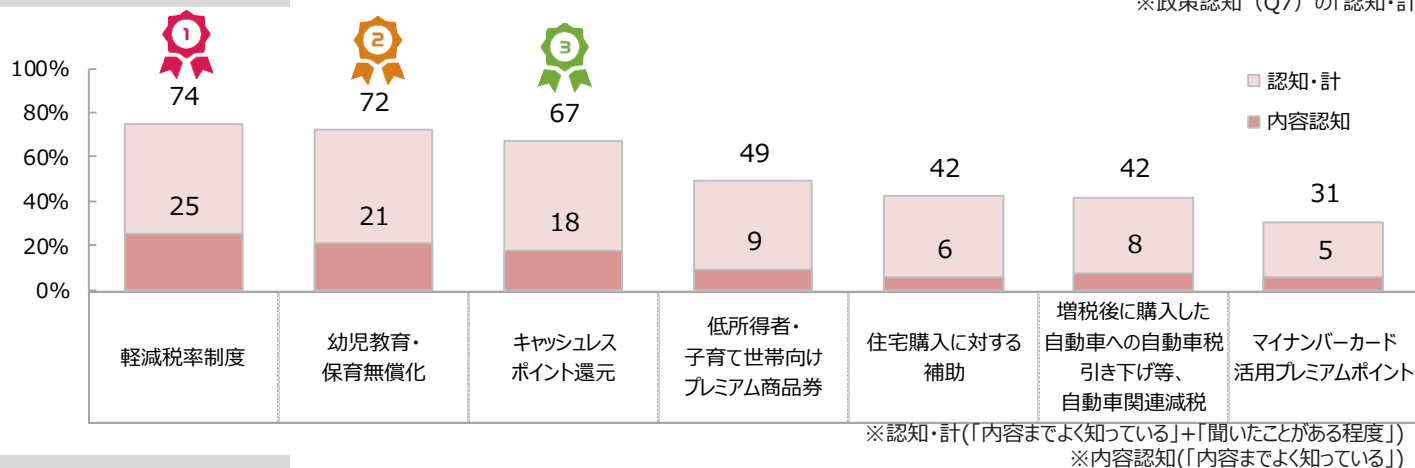
増税関連政策認知と利用意向

- ✓ 増税関連の政策認知は、「軽減税率制度」が最も高く、「幼児教育・保育無償化」「キャッシュレスポイント還元」も比較的高い。
- ✓ 各施策の利用意向は、「軽減税率制度」が最も高く、「キャッシュレスポイント還元」が続く。
各施策とも女性30代の利用意向が高い他、「キャッシュレスポイント還元」は女性50代でも高い。（P25参照）

増税関連政策認知(Q7)

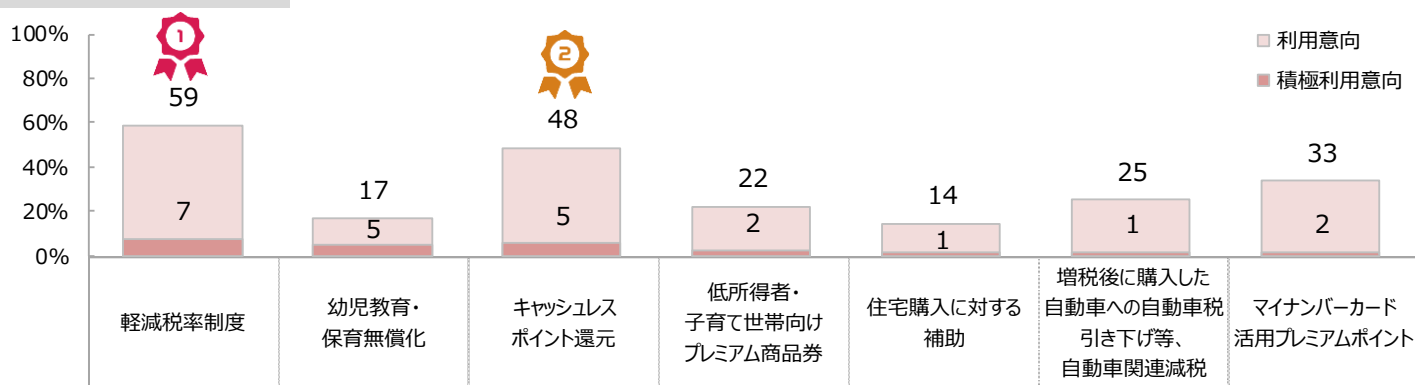
(n=1,034)

※政策認知（Q7）の「認知・計」のスコアで降順ソート



増税関連施策利用意向(Q8)

(n=1,034)

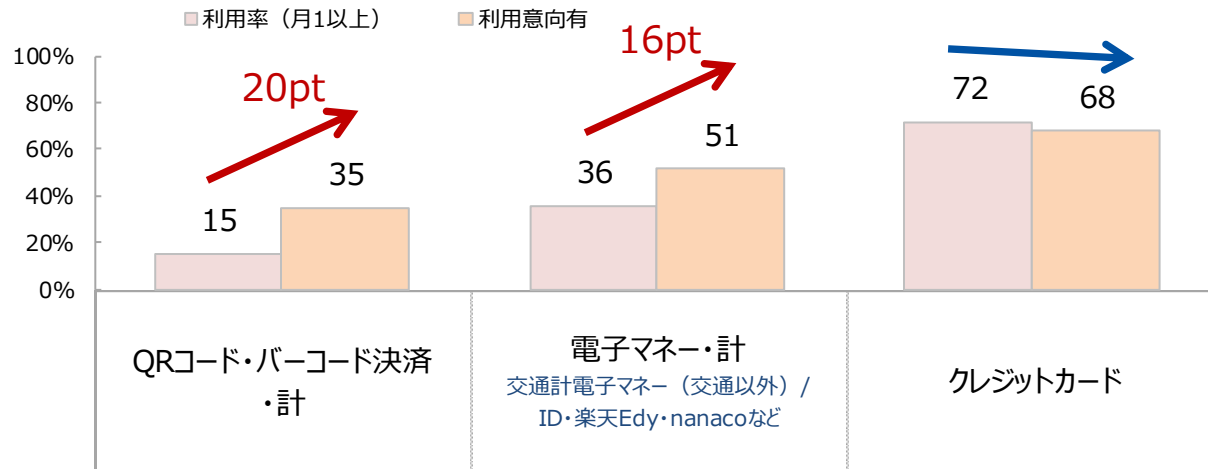


※利用意向(「利用をしたいと思い、具体的に制度を調べたり、購入の計画を立てている」~「対象者であれば利用したいと思う(自身が対象者かどうかわからない)」)
※積極利用意向(「利用をしたいと思い、具体的に制度を調べたり、購入の計画を立てている」)

キャッシュレス利用状況とキャッシュレスポイント還元制度利用意向

- ✓ キャッシュレスサービス利用状況と、キャッシュレスポイント還元制度の説明後の利用意向を比べると、「QR・バーコード決済」は20pt、「電子マネー」は16ptのリフトアップがみられる。一方、「クレジットカード」はほぼ横ばいである。
- ✓ 制度の説明後の利用意向について、「QR・バーコード決済」は、男性20・30代、女性20代の利用意向スコアが高く、今後の若年層の利用率伸長が期待される。一方、電子マネーは年代による差異は少ない。クレジットカードは高年層でやや高めの利用意向となっている。

キャッシュレスサービス利用状況(Q9)/キャッシュレスポイント還元制度利用意向 (Q11)



※利用率 (月1以上) (「週に1回以上利用している」+「月に1回以上利用している」)
 ※利用意向有 (「利用したいと思う」+「やや利用したいと思う」)

<説明画像>

キャッシュレスポイント還元制度とは

消費者が中小店舗で商品やサービスを購入する際に、
キャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など)にて代金を支払った場合には、
購入額の最大5%のポイントが付与される制度です。

※ポイント還元を利用できる対象は、
 「QRコード・バーコード決済」「電子マネー」「クレジットカード」で、
 日本円でチャージ可能・日本の金融機関の口座を利用できるサービスのものです。

キャッシュレスポイント還元制度利用意向 (Q11) (性年代別)

		利用意向 (%)		
		QR/ バーコード決済	電子 マネー	クレジ ットカード
全体		35	51	68
性 年 代 別	男性20代	43	51	61
	男性30代	41	52	58
	男性40代	38	53	67
	男性50代	37	55	68
	男性60代	24	49	67
	女性20代	42	56	65
	女性30代	37	51	69
	女性40代	33	51	69
	女性50代	35	55	71
	女性60代	23	45	78

n=30以上の場合	
[比率の差]	
全体 +10% イト	
全体 +5% イト	
全体 -5% イト	
全体 -10% イト	

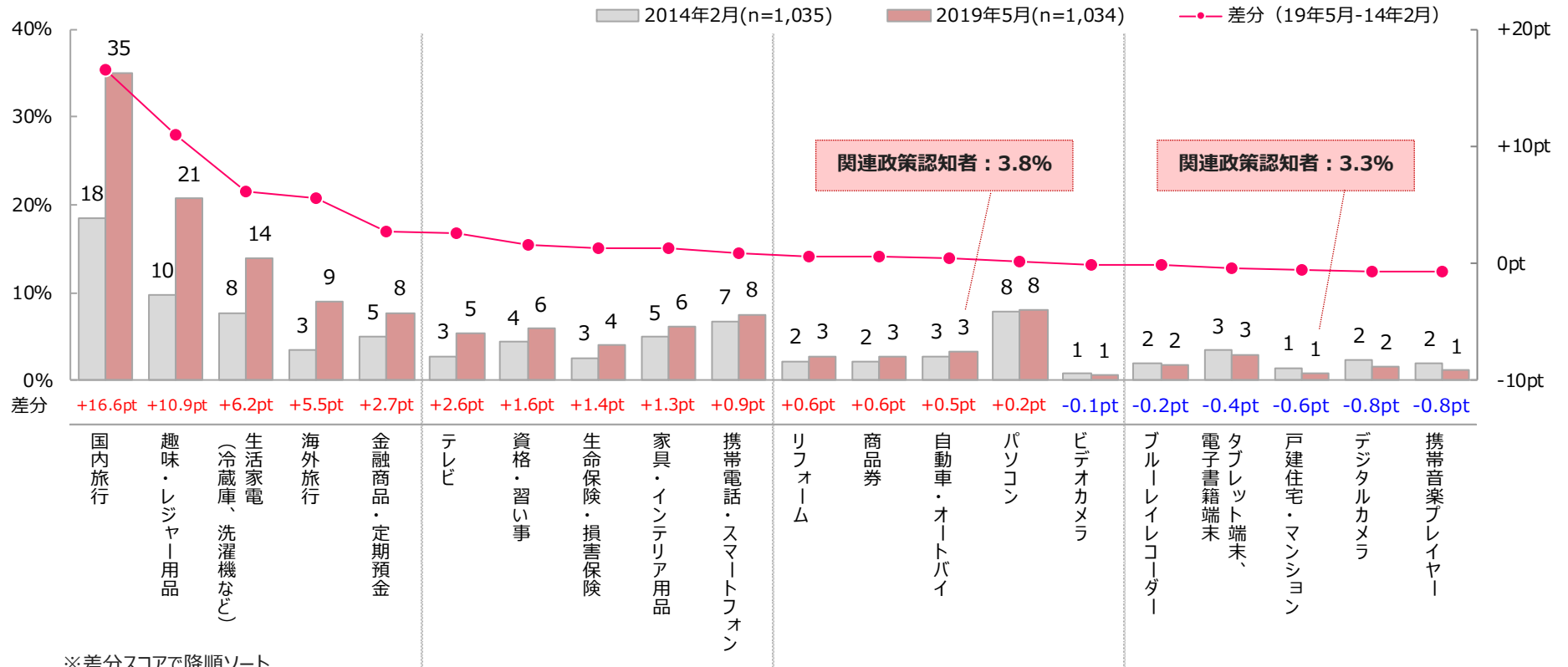
		n=	ド決済	マネー	トカード
性 年 代 別	全体	(1,034)	35	51	68
	男性20代	(82)	43	51	61
	男性30代	(102)	41	52	58
	男性40代	(120)	38	53	67
	男性50代	(99)	37	55	68
	男性60代	(114)	24	49	67
	女性20代	(79)	42	56	65
	女性30代	(100)	37	51	69
	女性40代	(118)	33	51	69
	女性50代	(100)	35	55	71
女性60代	(120)	23	45	78	

増税までの購入予定

前回調査（14年2月）比較

- ✓ 前回の増税前調査（2014年2月）と比較すると、増税前の9月までに購入予定のものは、「国内旅行」「趣味・レジャー用品」「生活家電（冷蔵庫、洗濯機など）」「海外旅行」で大きく増加している。
※今回は5月～9月までの購入を、前回は2月～3月までの購入について聞いているため、調査時期の影響もうかがわれる。
- ✓ 「自動車・オートバイ」「戸建住宅・マンション」は、関連する政策を認知している人ベースで見ても、明確な差異は見られない。

増税前までの購入予定(Q3) 前回調査比

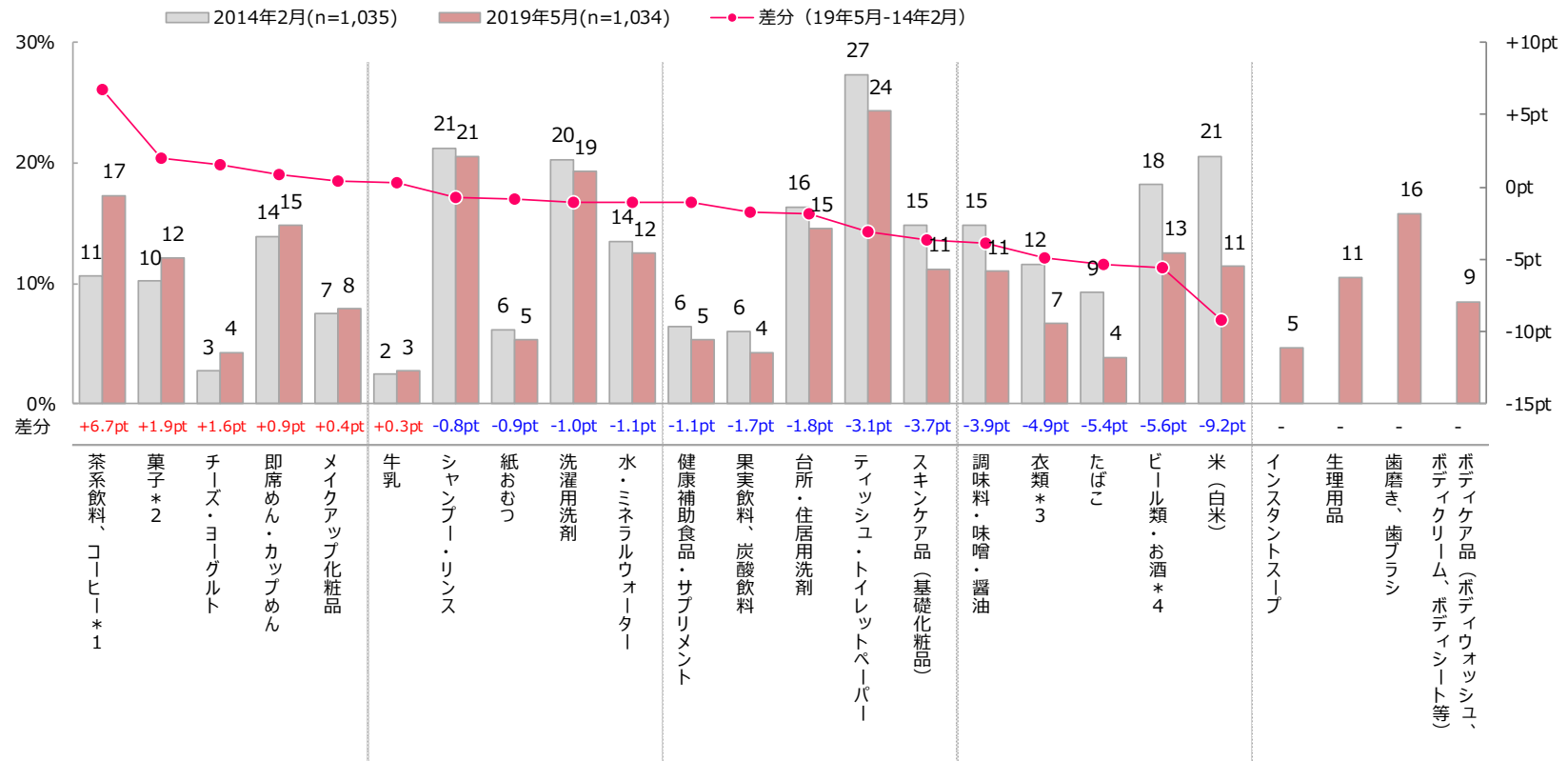


増税までの買いだめ予定

前回調査（14年2月）比較

- ✓ 前回の増税前調査（2014年2月）と比較すると、5月時点での買いだめ予定のものは、「茶系飲料・コーヒー」が前回よりも増加、「米（白米）」「ビール類・お酒」「たばこ」「衣類」が前回よりも減少している。
- ✓ 日用品の買いだめ予定については、前回（2014年2月）と同程度となっている。

増税前までの買いだめ予定(Q4) 前回調査比



※差分スコアで降順ソート

*1 今回調査では「コーヒー飲料、紅茶飲料」「緑茶飲料、無糖茶飲料」「インスタント／レギュラーコーヒー、インスタント／リーフ紅茶」で聴取

*2 今回調査では「チョコレート」「ガム・キャンディー、ガミ、タブレット菓子」「スナック、米菓、ビスケット」で聴取

*3 前回調査では「洋服（下着を除く）」「下着類」で聴取

*4 今回調査では「ビール類」「チューハイ、カクテル、ハイボール缶」で聴取

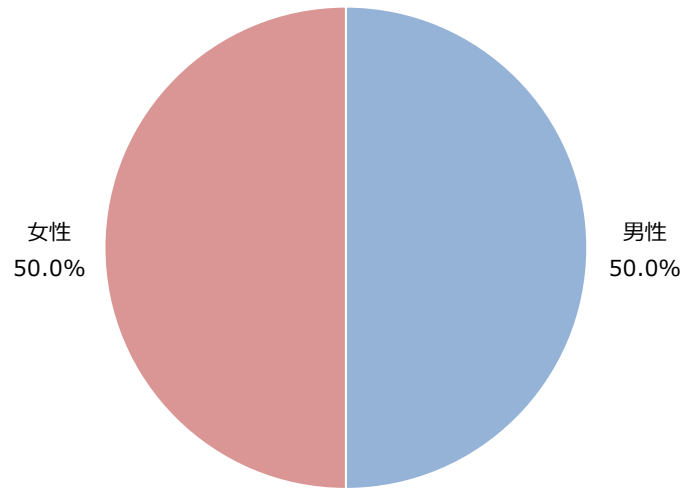
まとめ

- ✓ 2019年の増税は、過去2回（15年、17年）の増税延期を経ている為か、
前回の増税前に見られたような**“買いだめ”への意識はあまり目立って見られなかった。**
また、今回の増税時には、政府の緩和策が複数準備されている影響もあってか、
消費者意識は落ち着いているように見られる。
 - ✓ 政府の緩和策のうち**「軽減税率制度」**に関しては、
政策認知者のほうが増税後の「支出増（食料品）」イメージが抑えられている。
しかし、“内容認知者”において6割が「変化なし」との認識であるものの、3割は「支出増」とイメージ
していることから、より正確な認識がされることで、市場の安心感につながりそうである。
 - ✓ また、**住宅／自動車購入**に関しては、**政策認知による購入意向には明確な差異が見られない**ことから、
政策による駆け込み・買い控えへの影響は限定的か。
 - ✓ その他、今回の増税5ヶ月前調査は、
直近1ヶ月の消費項目（新年度が関係）や**9月までの購入予定品**（夏季賞与や夏季休暇が関係）など
時期的な影響があったと考えられる。
-
- ✓ 今回の政策には、**キャッシュレス社会実現**に向けた動きも盛り込まれており、今注目されているQR・
バーコード決済によるポイント還元（中小店舗利用時）がされる予定であるが、**制度の詳細説明後**の
利用意向をみると、**QR・バーコード決済では35%（20ptUP）、電子マネーで51%（16ptUP）。**
また、**若年層**ではQR・バーコード決済の利用意向が他の年代に比べて高くなっている。

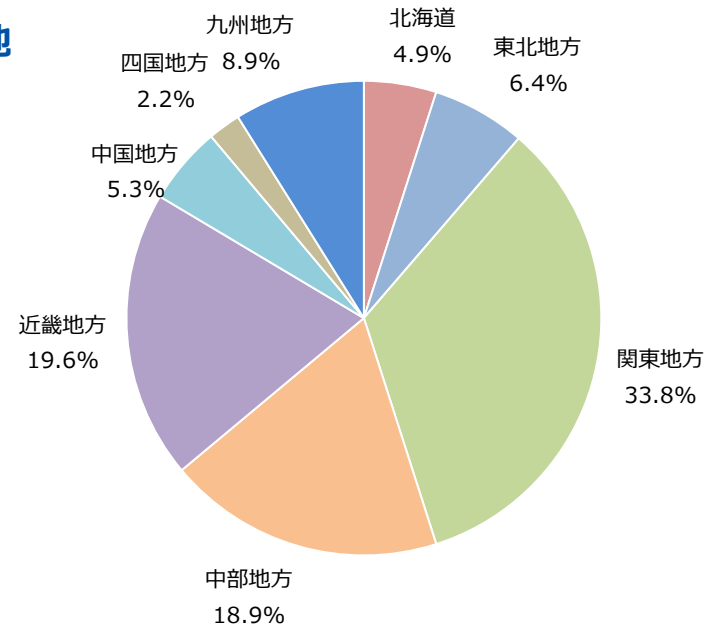
調査結果の詳細

回答者のプロフィール (n=1,034)

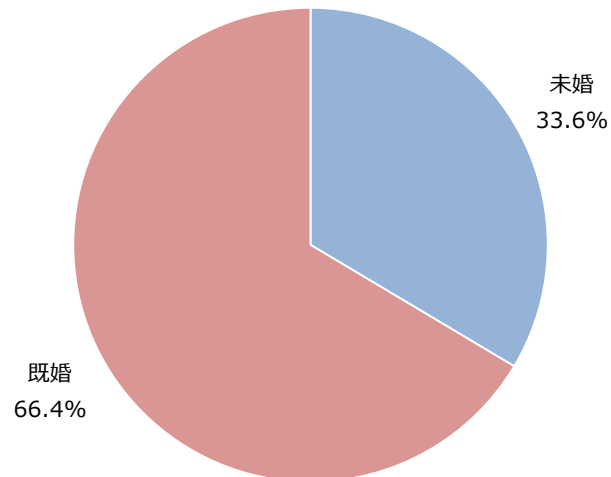
性別



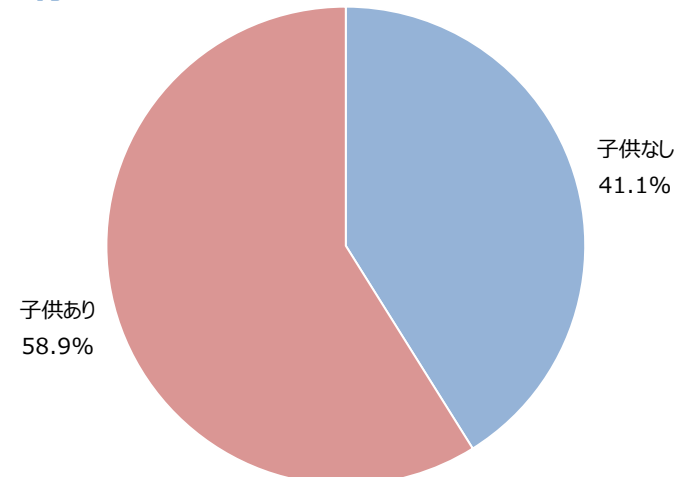
居住地



未既婚

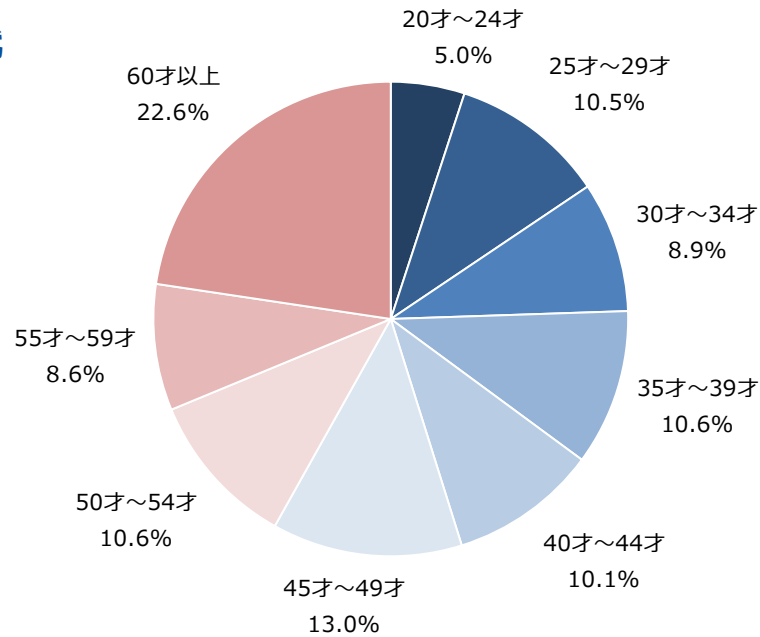


子どもの有無

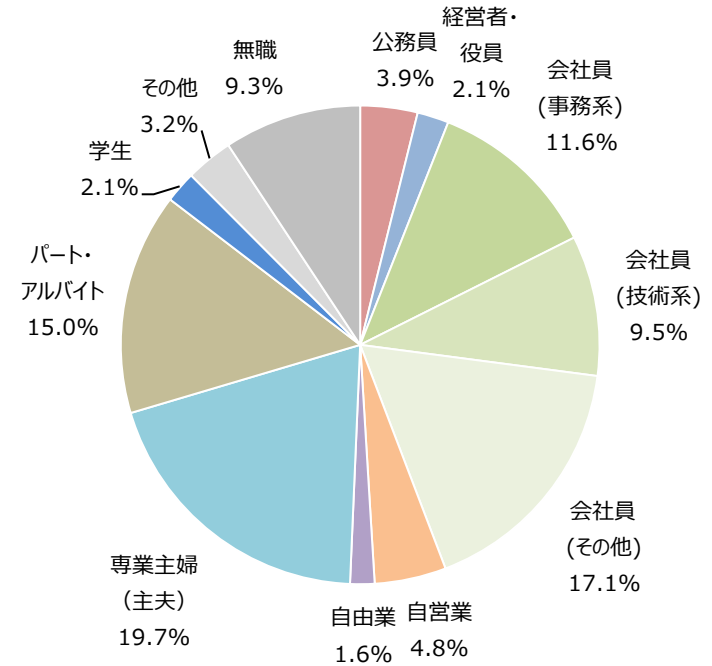


回答者のプロフィール (n=1,034)

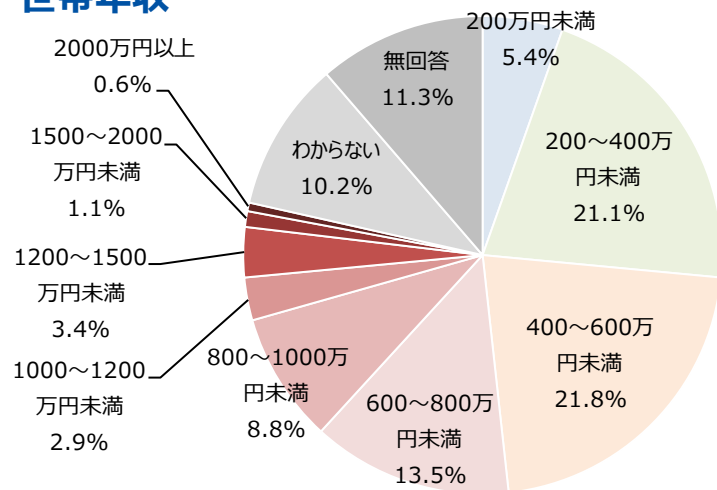
年代



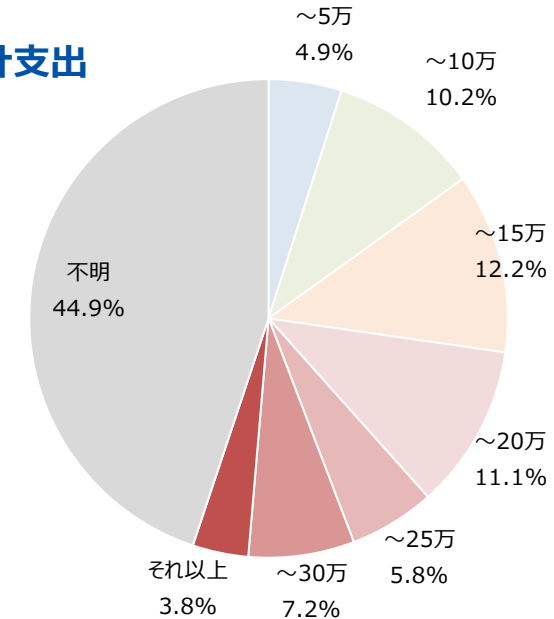
職業



世帯年収



1ヶ月の家計支出



増税の認知状況

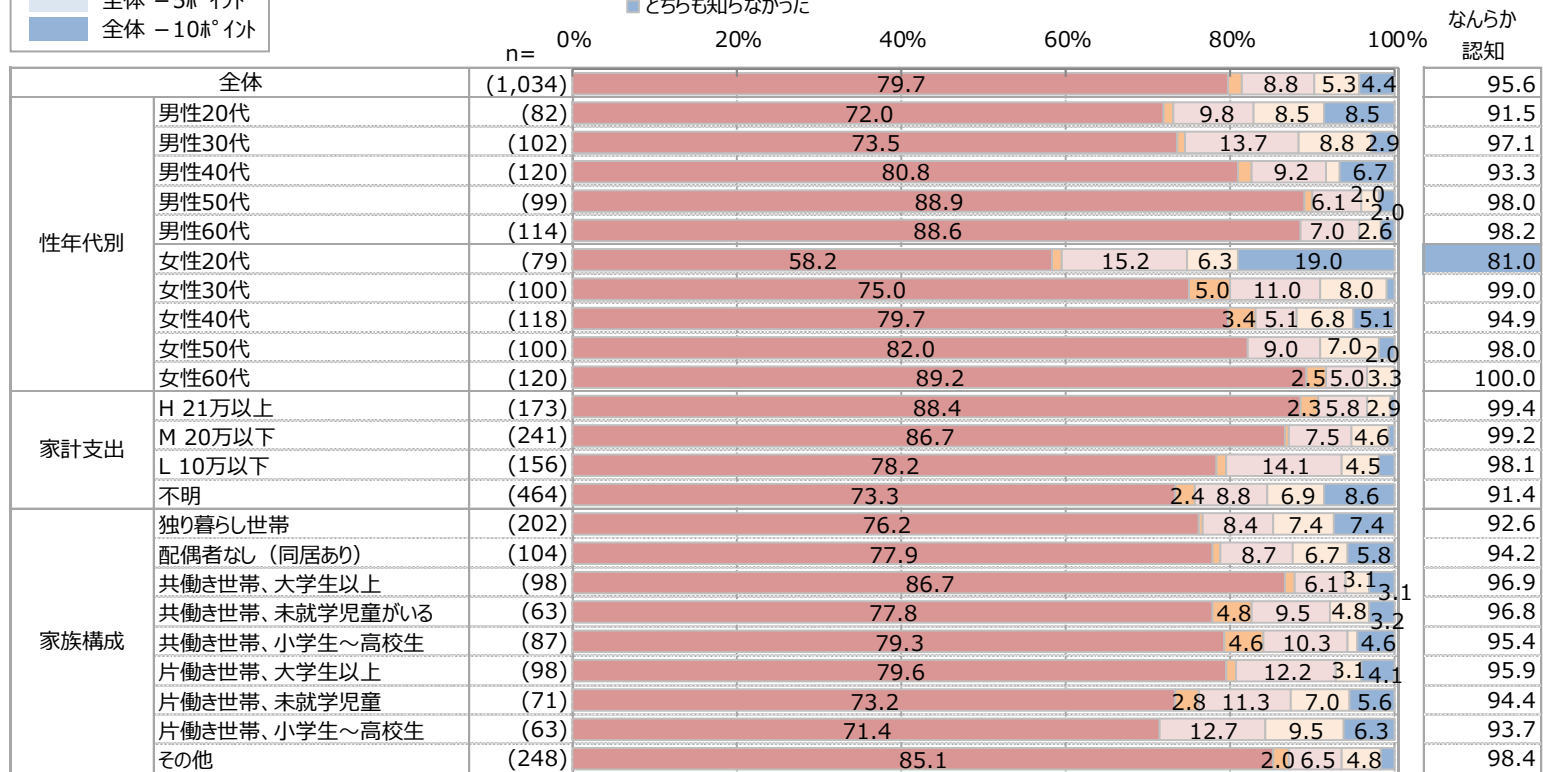
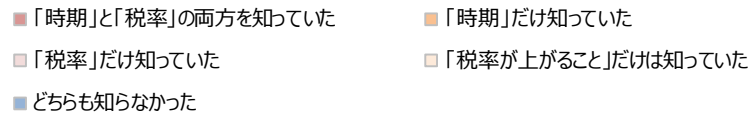
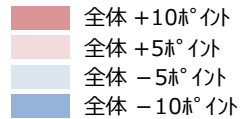
「時期」「税率」の両方認知者は全体の8割。なんらか認知は96%となっている。

Q6 今年（2019年）の10月から消費税の税率が現行の8%から10%に上がることが予定されています。あなたは変更の「時期」と引き上げられる「税率」についてご存知でしたか。あてはまるものを教えてください。

SA

n=30以上の場合

【比率の差】



※スコア2.0%未満は非表示

※なんらか認知（「時期」と「税率」の両方を知っていた）～「税率が上がること」だけは知っていた）

増税前までの購入予定

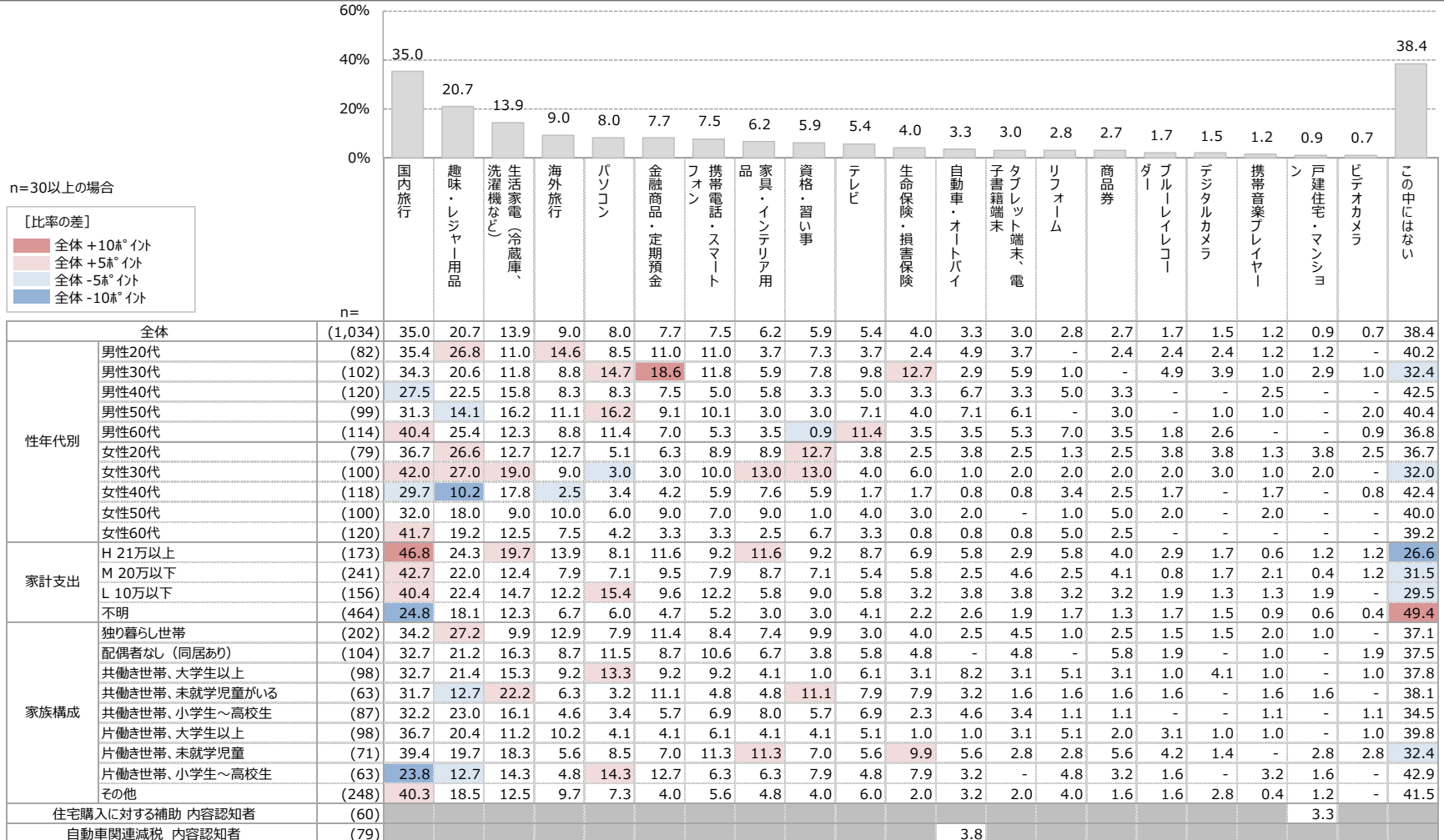
5月時点での購入予定は、「国内旅行」「趣味・レジャー用品」「生活家電」が上位。

※調査時期として、夏休み前である点、夏季賞与時期の前、エアコンなど季節商品の最盛期前である点などが上位項目の背景になっていることが一因と思われる。

「自動車・オートバイ」「戸建住宅・マンション」は、関連する政策認知者でも、全体値と明確な差異は見られなかった。

Q3 以下の商品やサービスのうち、今年（2019年）9月までに購入を考えているものをすべてお選びください。

MA



※「全体」のスコアで降順ソート

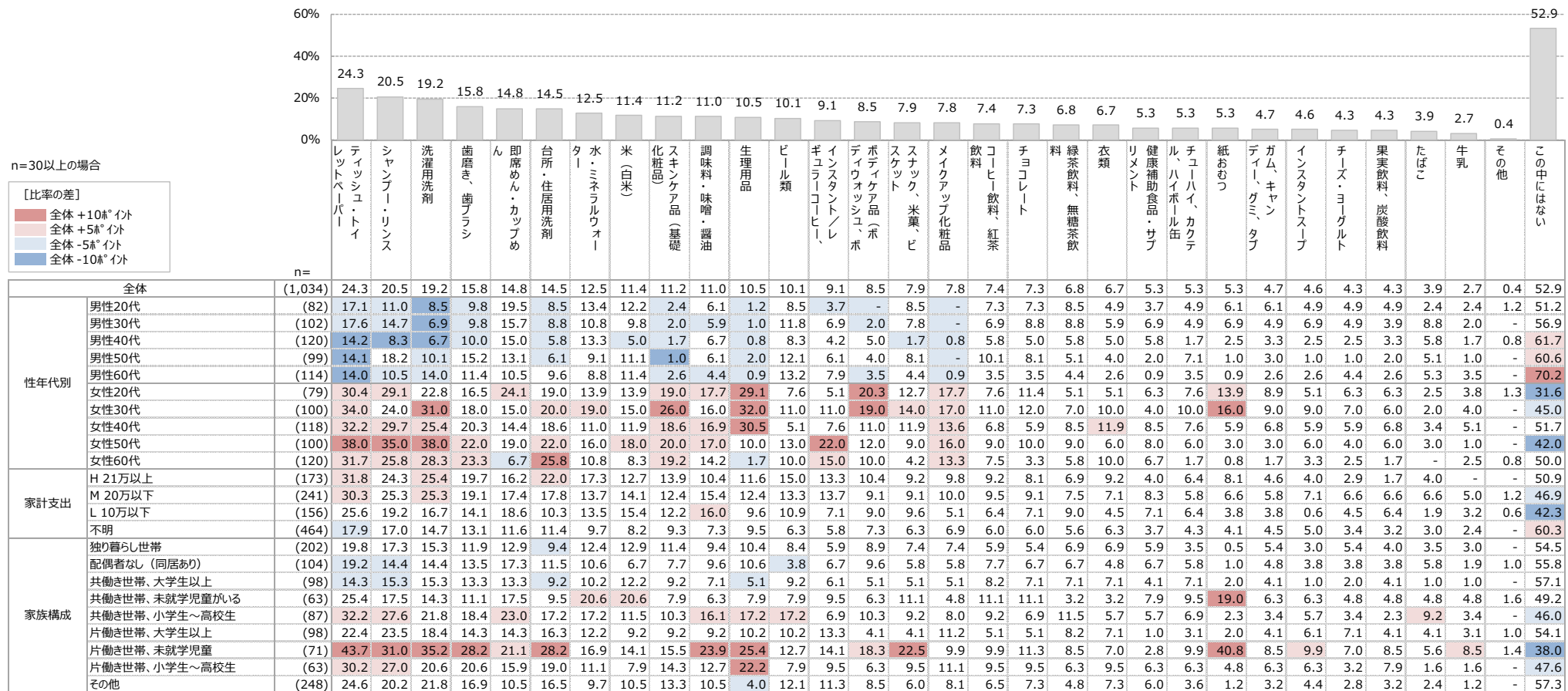
増税前までの買いだめ予定

5月時点での買いだめ予定は、「ティッシュ・トイレットペーパー」「シャンプー・リンス」「洗濯用洗剤」などが上位。

項目全般的に、女性や片働き（未就学児童同居）の層での予定が高めとなっている。

Q4 次の商品のうち、あなたが今年（2019年）9月までに買いだめをしようと思うものがあれば、すべてお選びください。

MA



※「全体」のスコアで降順ソート

増税後の消費イメージ

消費税増税以降、支出が“減る”と考えられているのは「外食」「衣料品・服飾費」「交際費」「教育娯楽費」など。

比較的切り詰めやすい項目で、支出の減少がイメージされている。

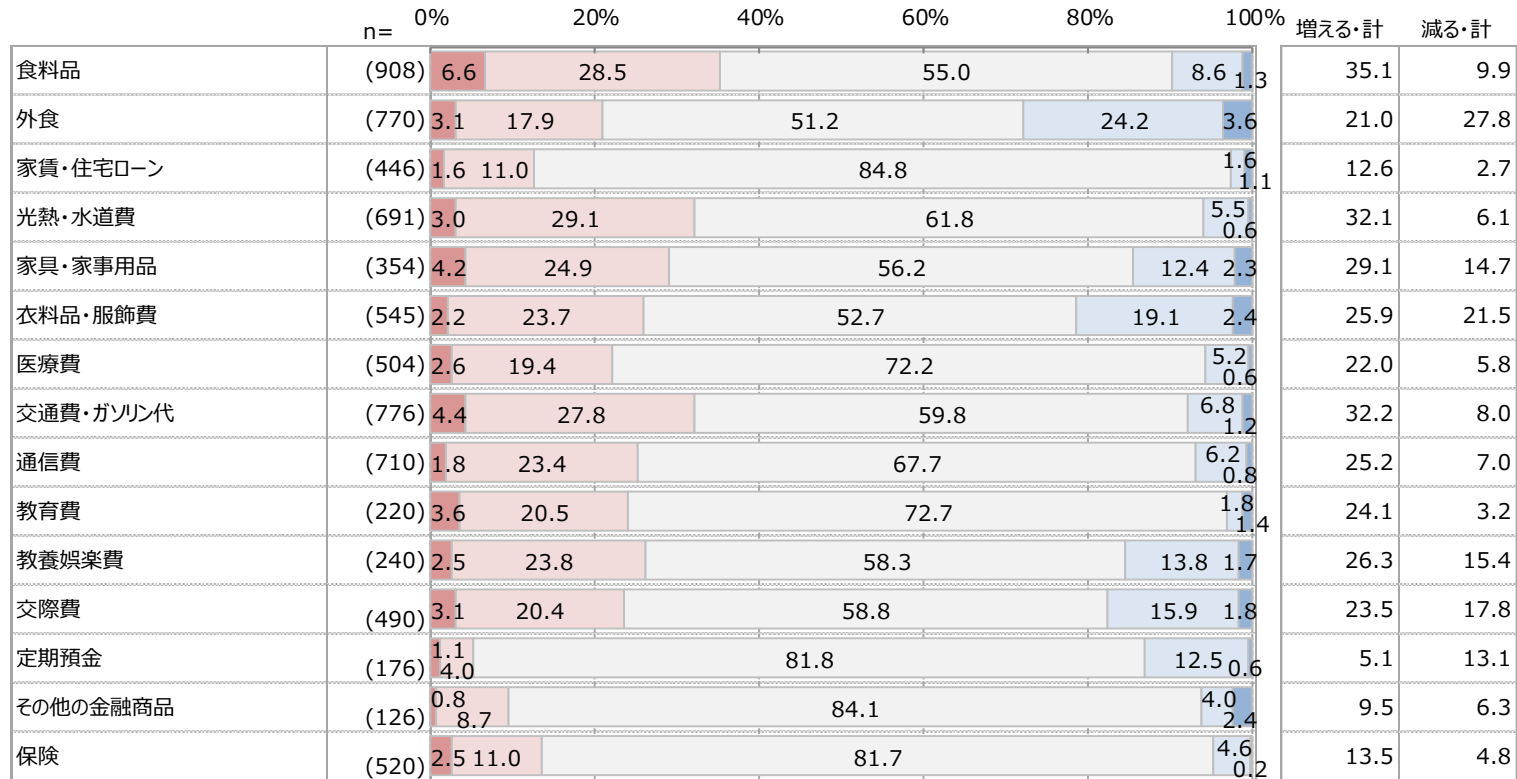
一方、「食料品」「交通費・ガソリン代」「光熱・水道費」など、利用を抑えにくい項目は増加のイメージがされている様子。

Q5 あなたがお支払いになる以下の各項目の1ヶ月あたりの金額は今年（2019年）の10月の消費税増税以降、どのようになると思いますか。

SA

※各項目1ヶ月以内に支払いした人ベース

■ 大幅に増えると思う ■ やや増えると思う □ 今と変わらない ■ やや減ると思う ■ 大幅に減ると思う



※増える・計(「大幅に増えると思う」+「やや増えると思う」)

※減る・計(「やや減ると思う」+「大幅に減ると思う」)

増税後の消費イメージ【減ると思う項目】

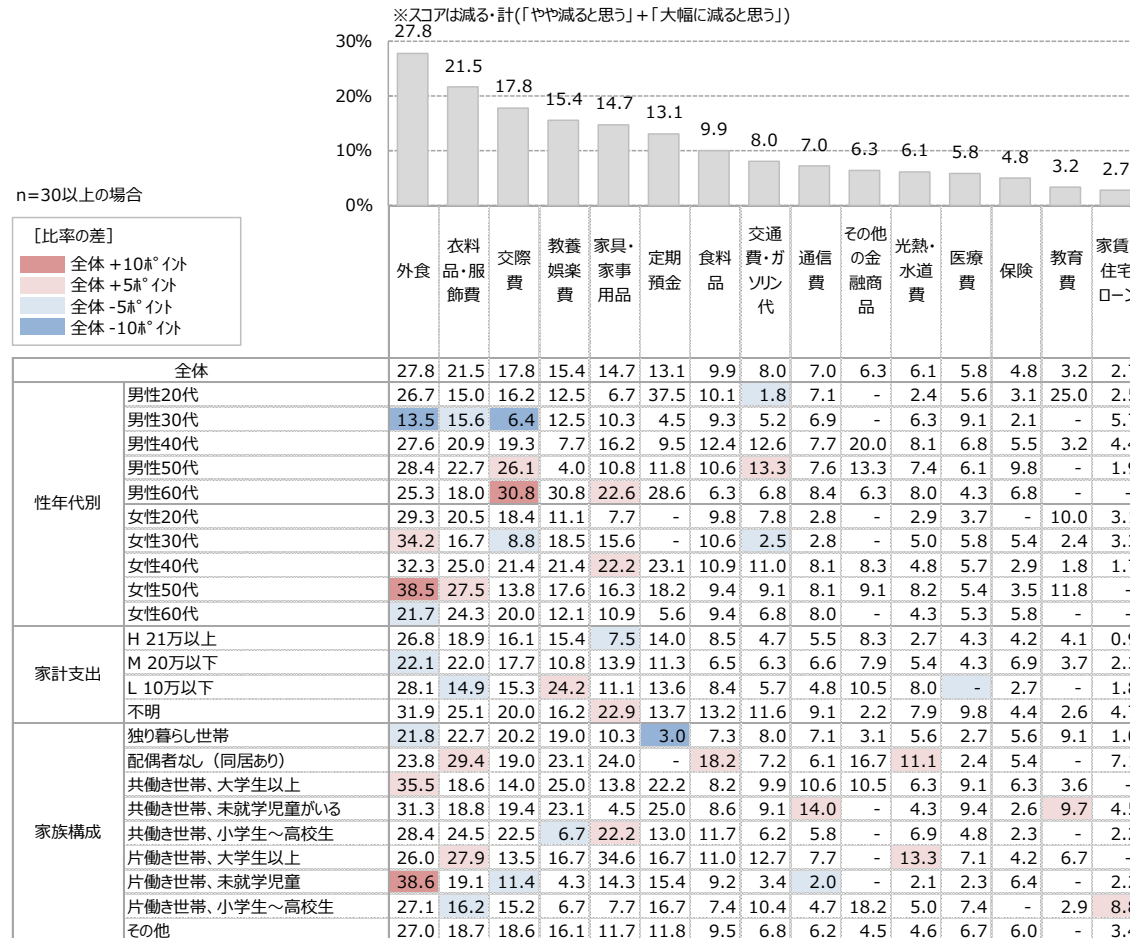
消費税増税以降、支出が“減る”と考えられているのは「外食」「衣料品・服飾費」「交際費」「教育娯楽費」など。

「外食」は女性30代と50代、「交際費」は男性50代と60代で減少イメージが持たれている様子。

Q5 あなたがお支払いになる以下の各項目の1ヶ月あたりの金額は今年（2019年）の10月の消費税増税以降、どのようになると思いますか。

SA

※各項目1ヶ月以内に支払いした人ベース



※回答母数n=

外食	衣料品・服飾費	交際費	教養娯楽費	家具・家事用品	定期預金	食料品	交通費・ガソリン代	通信費	その他の金融商品	光熱水道費	医療費	保険	教育費	家賃・住宅ローン
(770)	(545)	(490)	(240)	(354)	(176)	(908)	(776)	(710)	(126)	(691)	(504)	(520)	(220)	(446)
(60)	(20)	(37)	(8)	(15)	(8)	(69)	(55)	(42)	(15)	(41)	(18)	(32)	(4)	(40)
(74)	(45)	(47)	(24)	(29)	(22)	(86)	(77)	(72)	(22)	(64)	(44)	(48)	(23)	(53)
(87)	(43)	(57)	(26)	(37)	(21)	(105)	(87)	(78)	(15)	(74)	(44)	(55)	(31)	(68)
(67)	(44)	(46)	(25)	(37)	(17)	(85)	(83)	(79)	(15)	(81)	(49)	(51)	(25)	(52)
(79)	(50)	(39)	(26)	(31)	(14)	(96)	(88)	(83)	(16)	(88)	(69)	(59)	(8)	(21)
(58)	(44)	(38)	(9)	(26)	(12)	(61)	(51)	(36)	(5)	(34)	(27)	(25)	(10)	(32)
(79)	(72)	(57)	(27)	(45)	(16)	(94)	(79)	(72)	(9)	(60)	(52)	(56)	(42)	(60)
(96)	(84)	(56)	(28)	(45)	(26)	(110)	(91)	(86)	(12)	(84)	(70)	(68)	(57)	(59)
(78)	(69)	(58)	(34)	(43)	(22)	(96)	(77)	(74)	(11)	(73)	(56)	(57)	(17)	(40)
(92)	(74)	(55)	(33)	(46)	(18)	(106)	(88)	(88)	(6)	(92)	(75)	(69)	(3)	(21)
(149)	(127)	(112)	(65)	(80)	(50)	(164)	(148)	(145)	(24)	(147)	(116)	(120)	(73)	(107)
(199)	(141)	(141)	(74)	(115)	(53)	(231)	(205)	(196)	(38)	(203)	(140)	(144)	(54)	(133)
(121)	(74)	(72)	(33)	(54)	(22)	(143)	(122)	(105)	(19)	(113)	(64)	(75)	(15)	(57)
(301)	(203)	(165)	(68)	(105)	(51)	(370)	(301)	(264)	(45)	(228)	(184)	(181)	(78)	(149)
(142)	(88)	(104)	(42)	(68)	(33)	(177)	(138)	(140)	(32)	(144)	(73)	(90)	(11)	(101)
(63)	(51)	(42)	(13)	(25)	(10)	(88)	(69)	(66)	(12)	(36)	(41)	(37)	(2)	(14)
(76)	(59)	(50)	(24)	(29)	(27)	(85)	(81)	(66)	(19)	(63)	(55)	(48)	(28)	(40)
(48)	(32)	(31)	(13)	(22)	(12)	(58)	(55)	(50)	(7)	(47)	(32)	(39)	(31)	(44)
(67)	(49)	(40)	(30)	(36)	(23)	(77)	(65)	(52)	(6)	(58)	(42)	(43)	(50)	(46)
(73)	(43)	(37)	(24)	(26)	(12)	(82)	(71)	(65)	(8)	(60)	(42)	(48)	(15)	(32)
(57)	(47)	(35)	(23)	(28)	(13)	(65)	(59)	(50)	(9)	(48)	(43)	(47)	(39)	(46)
(48)	(37)	(33)	(15)	(26)	(12)	(54)	(48)	(43)	(11)	(40)	(27)	(34)	(35)	(34)
(196)	(139)	(118)	(56)	(94)	(34)	(222)	(190)	(178)	(22)	(195)	(149)	(134)	(9)	(89)

※「全体」のスコアで降順ソート

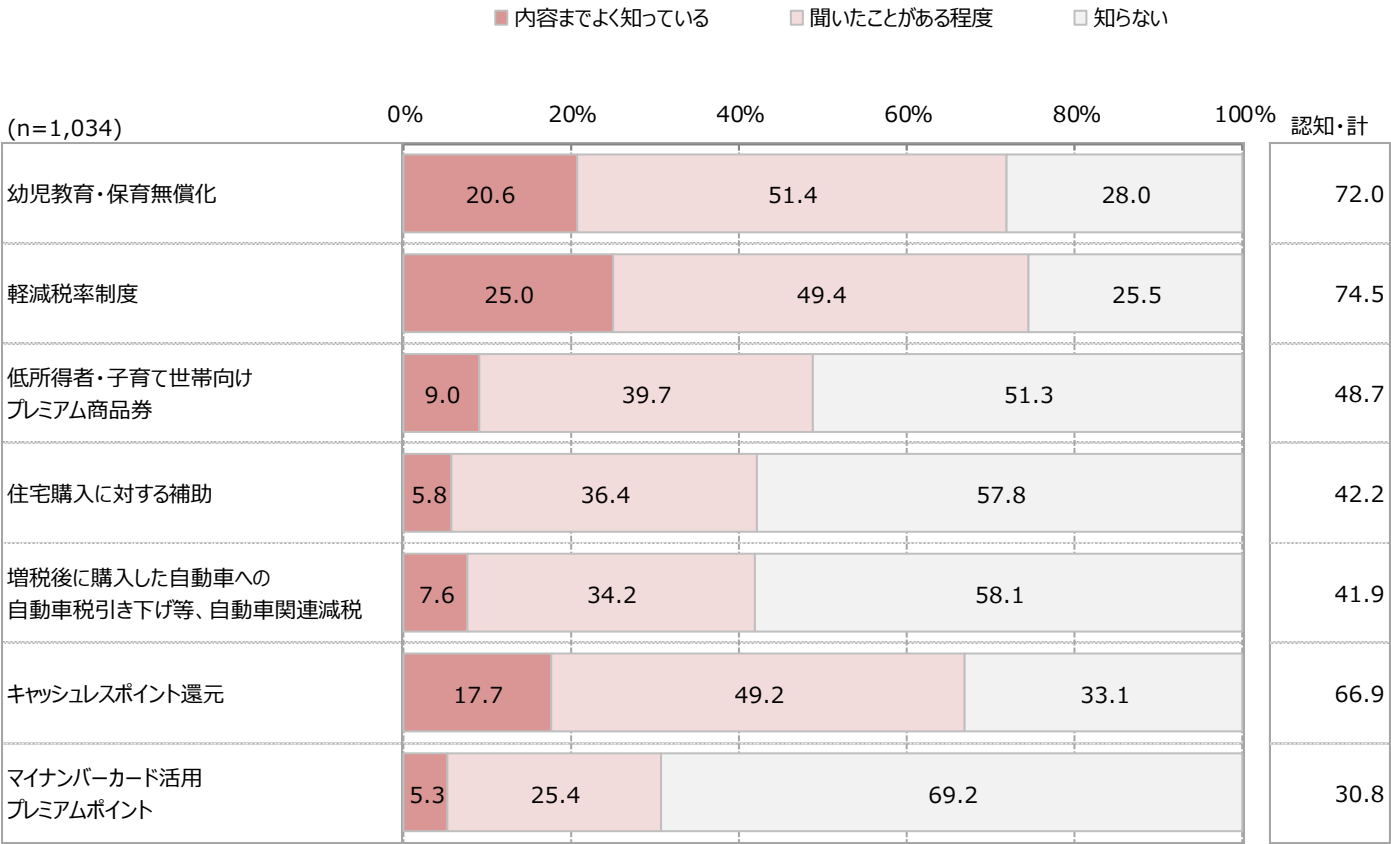
増税関連政策認知

関連政策の認知において、「軽減税率制度」は75%の認知。次いで「幼児教育・保育無償化」が72%と高い。

特に「軽減税率制度」は、16年の増税が想定されていた時期にも話題となっていたためか、高い認知となっている。
また、「キャッシュレスポイント還元」も67%の認知。

Q7 消費税増税に関する政府の各種対策について、あてはまるものをお選びください。

SA



※認知・計(「内容までよく知っている」+「聞いたことがある程度」)

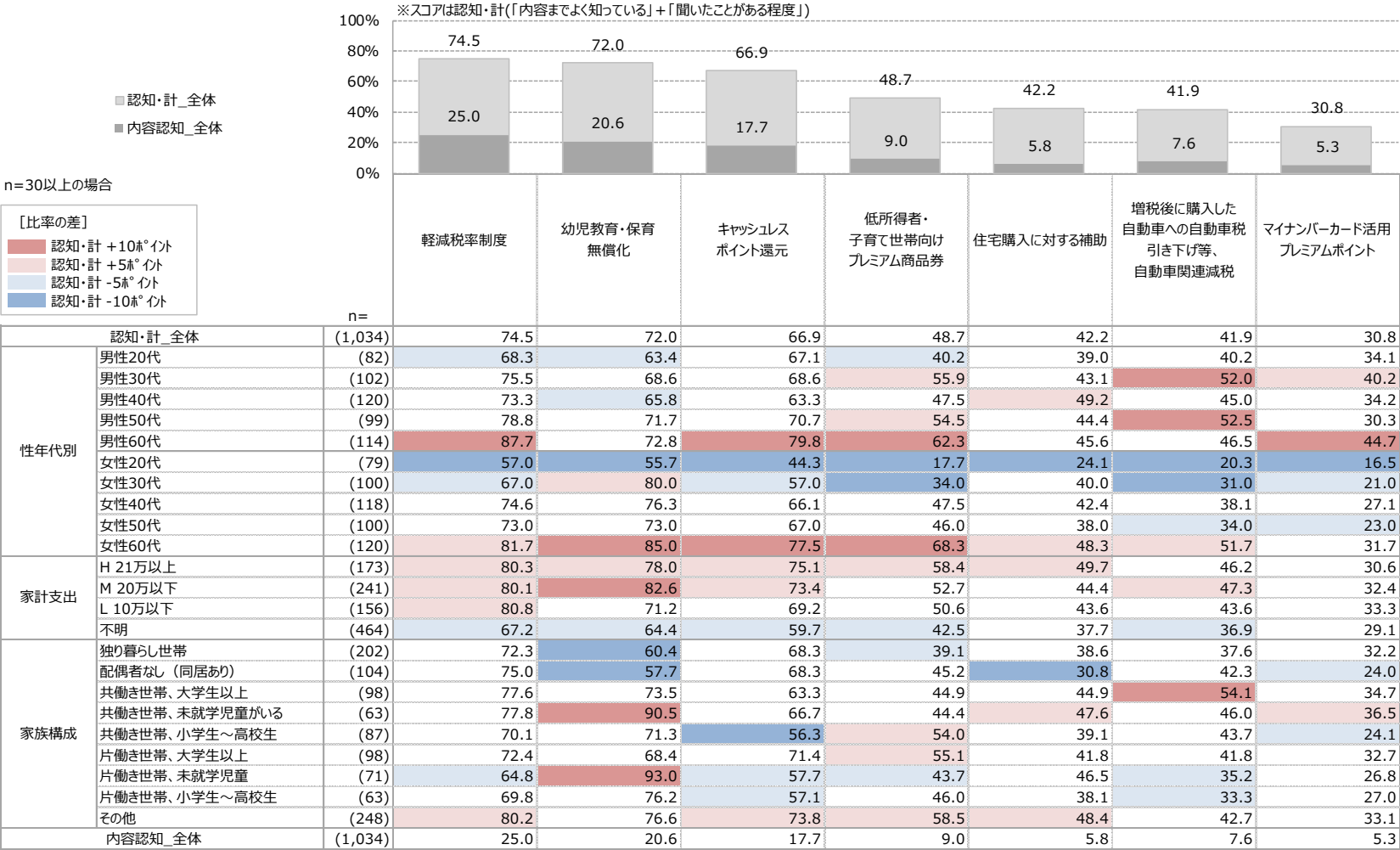
増税関連政策認知（詳細）

関連政策の認知において、「軽減税率制度」「幼児教育・保育無償化」「キャッシュレスポイント還元」が上位の認知率。

男女とも、60代での認知が高めで、逆に20代の認知が低い。
また、自己の家計支出を認識している人のほうが認知が高い傾向となっている。

Q7 消費税増税に関する政府の各種対策について、あてはまるものをお選びください。

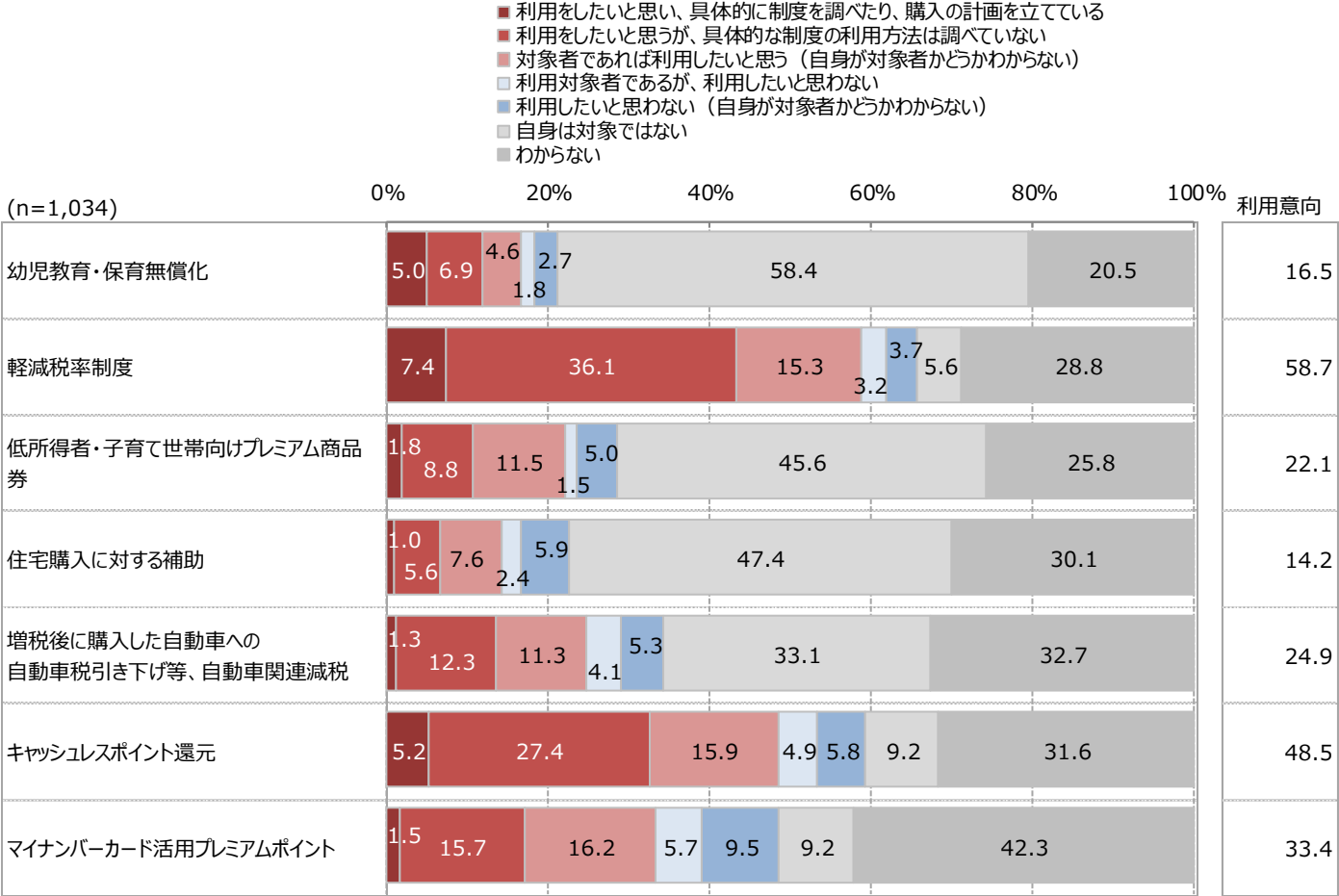
SA



増税関連施策利用意向

施策の利用意向について、なんらかの利用意向が高いのは、「軽減税率制度」「キャッシュレスポイント還元」。
また、“利用をしたいと思い、制度を具体的に調べている”割合が高いのは、上記の2項目のほか「幼児教育・保育無償化」。

Q8 以下の各種増税関連施策について、利用（活用）したいと思いますか。それぞれ最もあてはまるものをお選びください。 SA



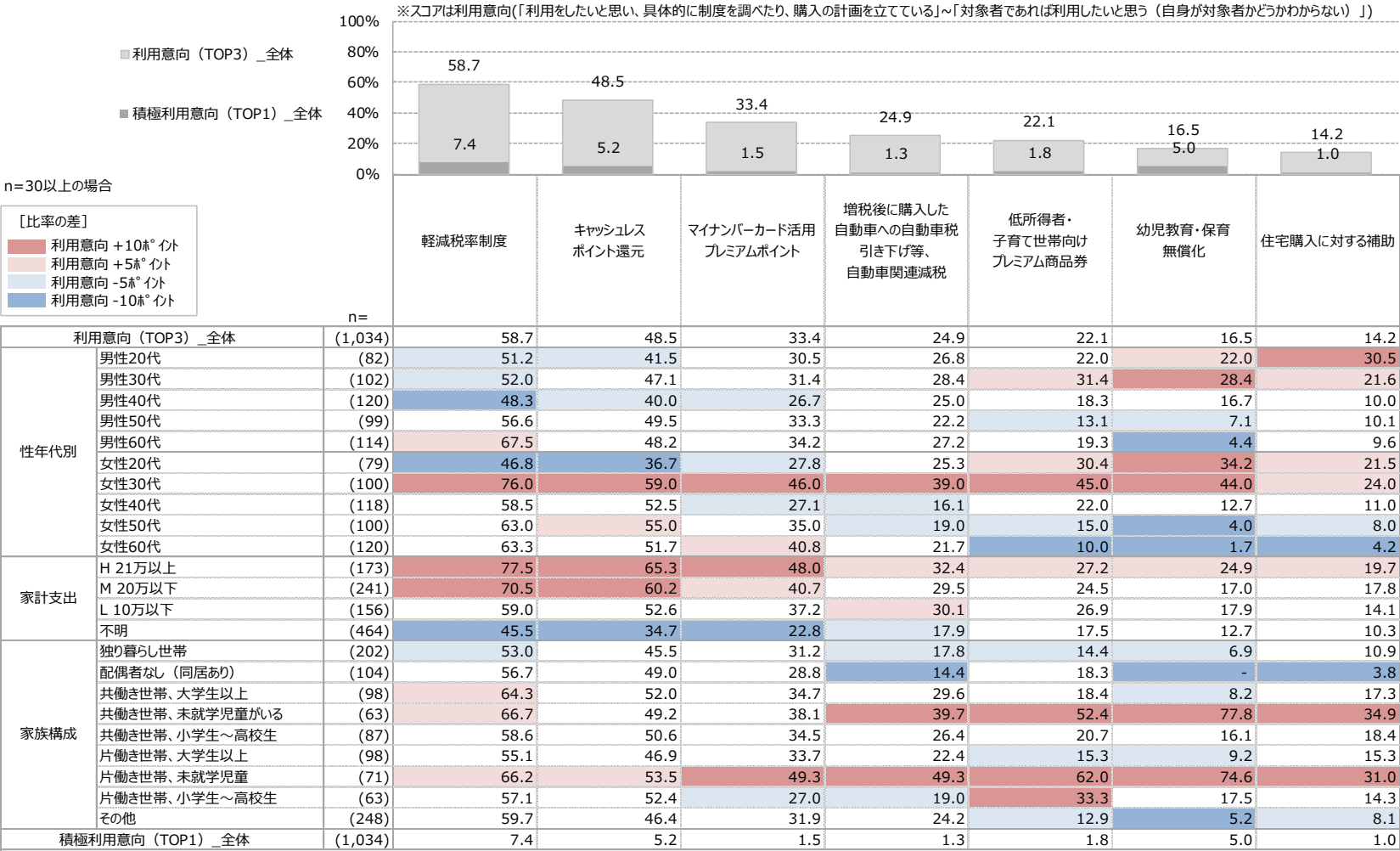
※利用意向(「利用をしたいと思い、具体的に制度を調べたり、購入の計画を立てている」
～「対象者であれば利用したいと思う（自身が対象者かどうか分からない）」)

増税関連施策利用意向（詳細）

施策の利用意向について、女性30代や、家計支出が比較的多い人の利用意向が高くなっている。
また、「幼児教育・保育無償化」は、未就学児がいる世帯に多い。

Q8 以下の各種増税関連施策について、利用（活用）したいと思いますか。それぞれ最もあてはまるものをお選びください。

SA

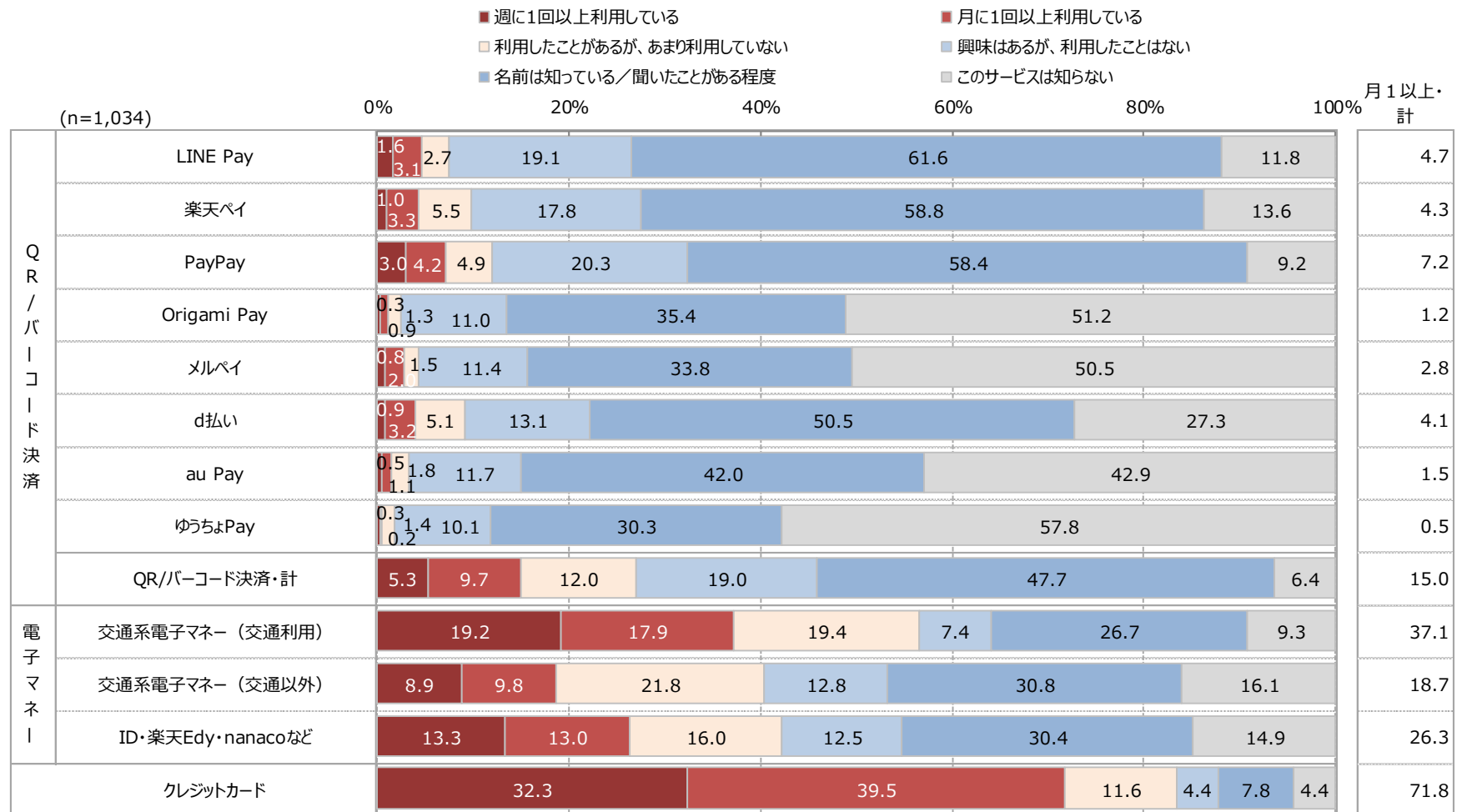


キャッシュレスサービス利用状況

現状の、キャッシュレスサービスの利用（週1以上）は、QR/バーコード系で5%、交通利用以外の電子マネーで10%前後、クレジットカードで32%となっている。

Q9 以下のキャッシュレスサービスについて、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。

SA



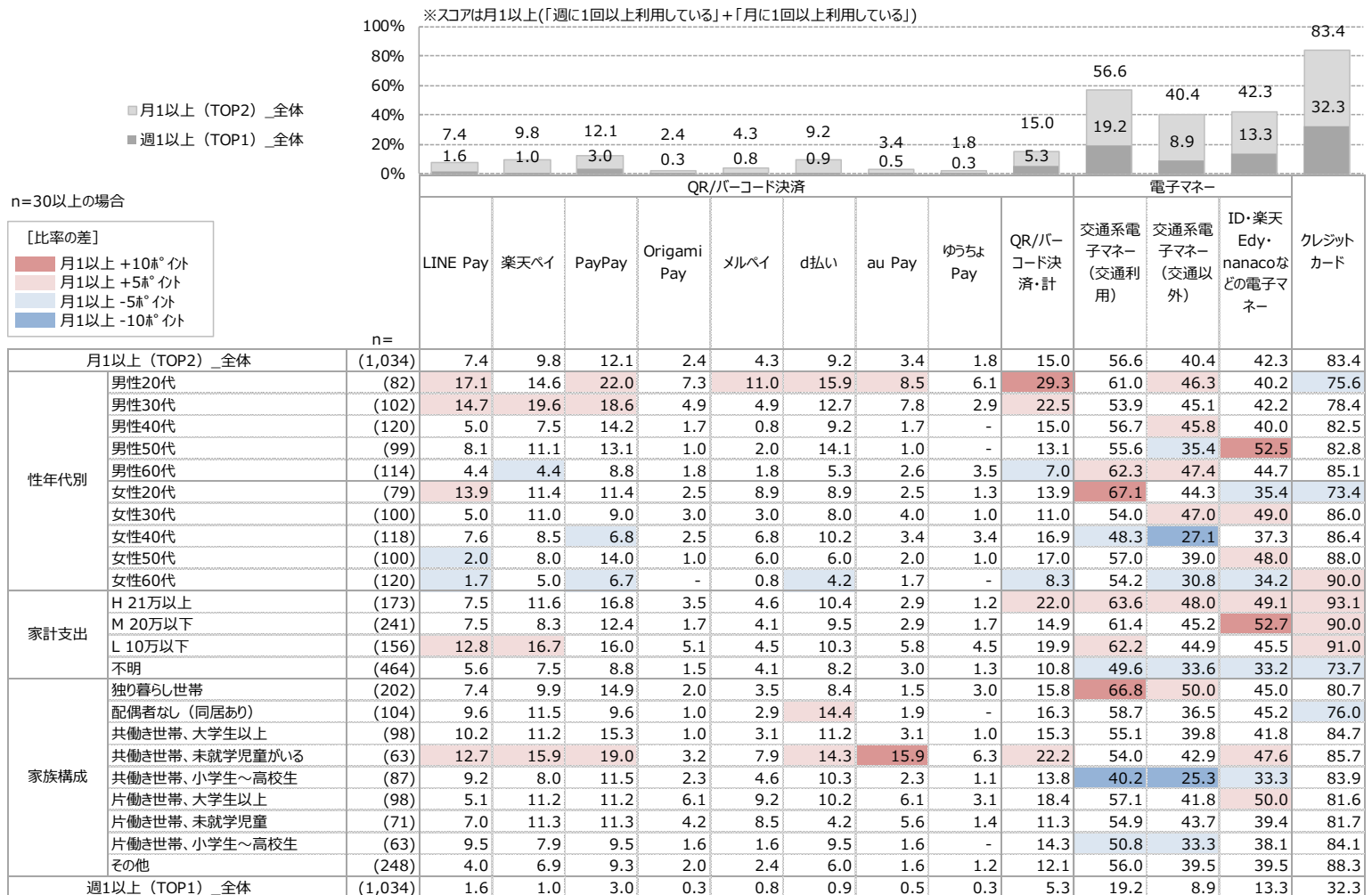
キャッシュレスサービス利用状況（詳細）

現状の、キャッシュレスサービスの利用（週1以上）は、QR/バーコード系で5%、交通利用以外の電子マネーで10%前後、クレジットカードで32%となっている。

QR/バーコード決済は、男性20～30代の利用が多い。また、クレジットカードは年代が高いほど利用が多い。

Q9 以下のキャッシュレスサービスについて、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。

SA



キャッシュレスサービス非利用/利用頻度低理由

Q10 前問の各項目で「利用したことがあるが、あまり利用していない」または、「興味はあるが、利用したことはない」とお答えになった理由についてお書きください。

FA

※各サービス非利用者/利用頻度低者ベース

QR/バーコード決済

- auウォレットカードのほうをよく使うから（女性/50代）
- CMなどでよく聞くがやろうとまではならない（男性/20代）
- PayPayやラインペイの方が還元率が高いから。（男性/30代）
- キャンペーンが終了したため（男性/40代）
- クレジットカードを使っているから（女性/60代）
- ネットでは使いたいけど店舗ではiDの方が楽だから。（女性/30代）

交通系電子マネー（電車・バス等交通での利用）

- チャージが面倒（女性/20代）
- 現金の方が好きだから（女性/50代）
- 使用できるサービスが居住地区にない。（男性/60代）
- 定期券を使う。（男性/50代）
- 電車、バスをあまり利用しないから（女性/60代）
- 普段は自家用車に乗るから（男性/50代）
- 利用の仕方が良くわからないからです（女性/50代）

交通系電子マネー（商品の購入など、交通以外での利用）

- クレジットカードにまとめた方がポイントが貯まりやすい。（女性/50代）
- チャージするのが面倒なので（男性/30代）
- ポイントが付かない（男性/60代）
- ほかの電子マネーを主に利用しているから（男性/40代）
- 家計上の項目別の支払額が分からなくなるため（男性/40代）
- 現金を目にしないとどうしても使いすぎると思う。（女性/60代）
- 交通機関を利用する頻度が少なく持ち合わせてない（女性/50代）
- 使えるところが身近にない（男性/30代）

電子マネー

- Pay関係のアプリが増えてから利用頻度が極端に下がった。（女性/40代）
- お財布に色々なカードがありすぎて、どれで支払ったらいいかわからなくなるから（女性/50代）
- クレジットカード払いを主に利用するから。（女性/40代）
- チャージが面倒（男性/40代）
- よく使い方がわからないから（男性/20代）
- 以前エディーを使っていたが、クレジット払いの方が良いと感じたから。（女性/30代）
- 興味はあるが調べていない（女性/20代）
- 現金の方が気楽に使える（男性/60代）
- 交通系のカードで満足しているから。（男性/40代）
- 使うのを忘れる（男性/20代）
- 使わなくても不便じゃないから（男性/30代）
- 手続きがめんどくさそう（女性/20代）
- 対応しているお店が分からない（男性/30代）
- 無駄な買い物が増える（男性/50代）

クレジットカード

- クレジットカード持っただけで使うのが怖くて使っていないから（女性/20代）
- セキュリティーが心配で利用しにくい。（男性/30代）
- 現金で生活したいから（女性/60代）
- 高額な物を買うときだけ使用しているから（女性/40代）
- 使いすぎた日と引き落としの日が違うのでお金の管理が難しい（女性/50代）
- 借金と同じだから（男性/60代）
- 普段持ち歩かないため（男性/60代）

政府のキャッシュレスポイント還元制度利用意向

還元制度の認知後の利用意向について、QR/バーコード決済は35%、電子マネーは52%と、
現在よりも利用が後押しされる可能性が高くなっている。

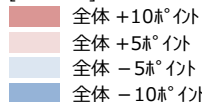
クレジットカードの意向は上昇せず、QR/バーコード決済や電子マネーへ利用が移行することがうかがわれる。

Q11 以下は、キャッシュレスポイント還元制度の詳しい説明です。この文章をお読みになって、以下の各キャッシュレスサービスについてあてはまるものをお選びください。

SA

n=30以上の場合

[比率の差]

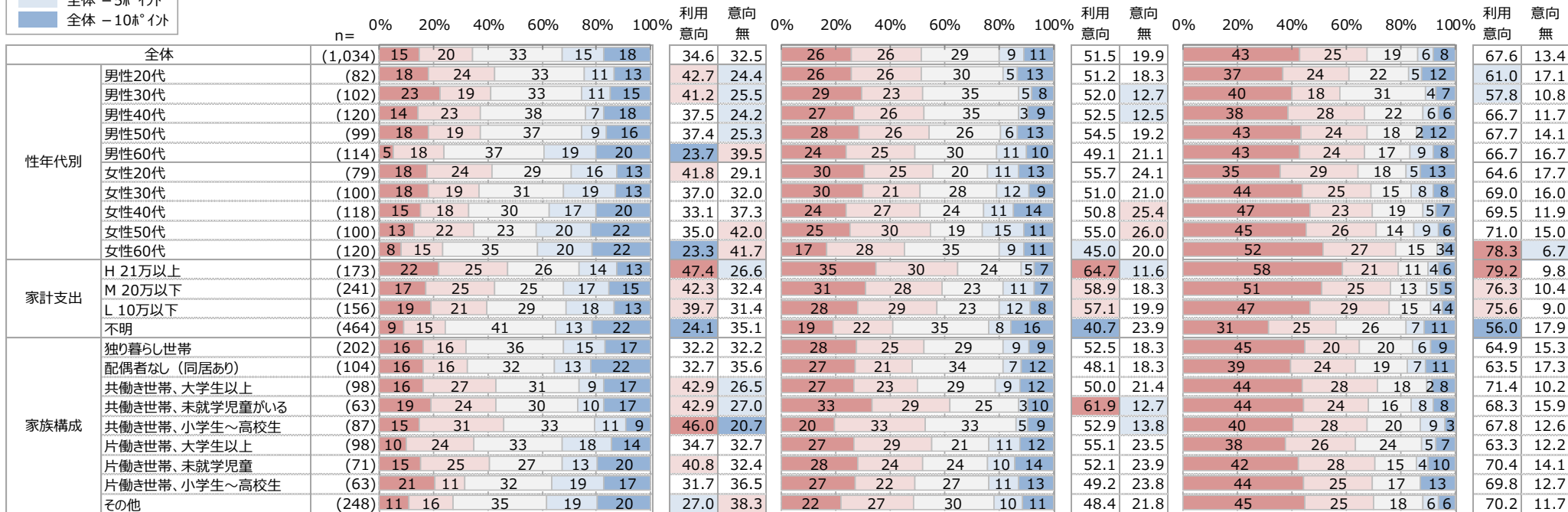


QR/バーコード決済

電子マネー

クレジットカード

■ 利用したいと思う ■ やや利用したいと思う □ どちらともいえない ■ あまり利用したいと思わない ■ 利用したいと思わない



※利用意向(「利用したいと思う」+「やや利用したいと思う」)

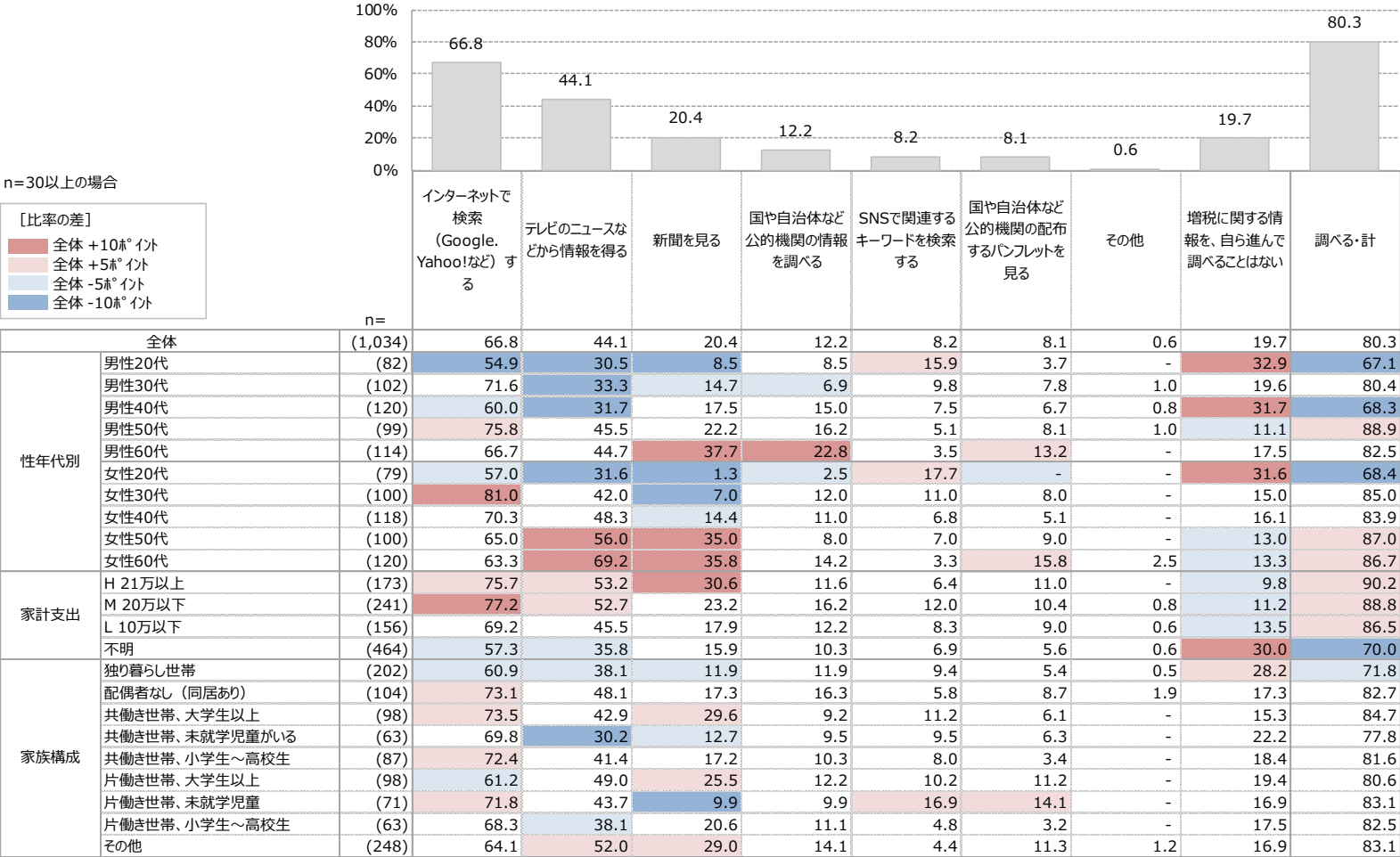
※意向無(「あまり利用したいと思わない」+「利用したいと思わない」)

増税関連情報取得方法

増税関連の情報について、「インターネット検索」が最多。次いで「テレビのニュースなど」。「SNSで検索」は20代に多い。

Q14 あなたが「増税」に関する情報を調べる場合、どの様に調べますか？

MA

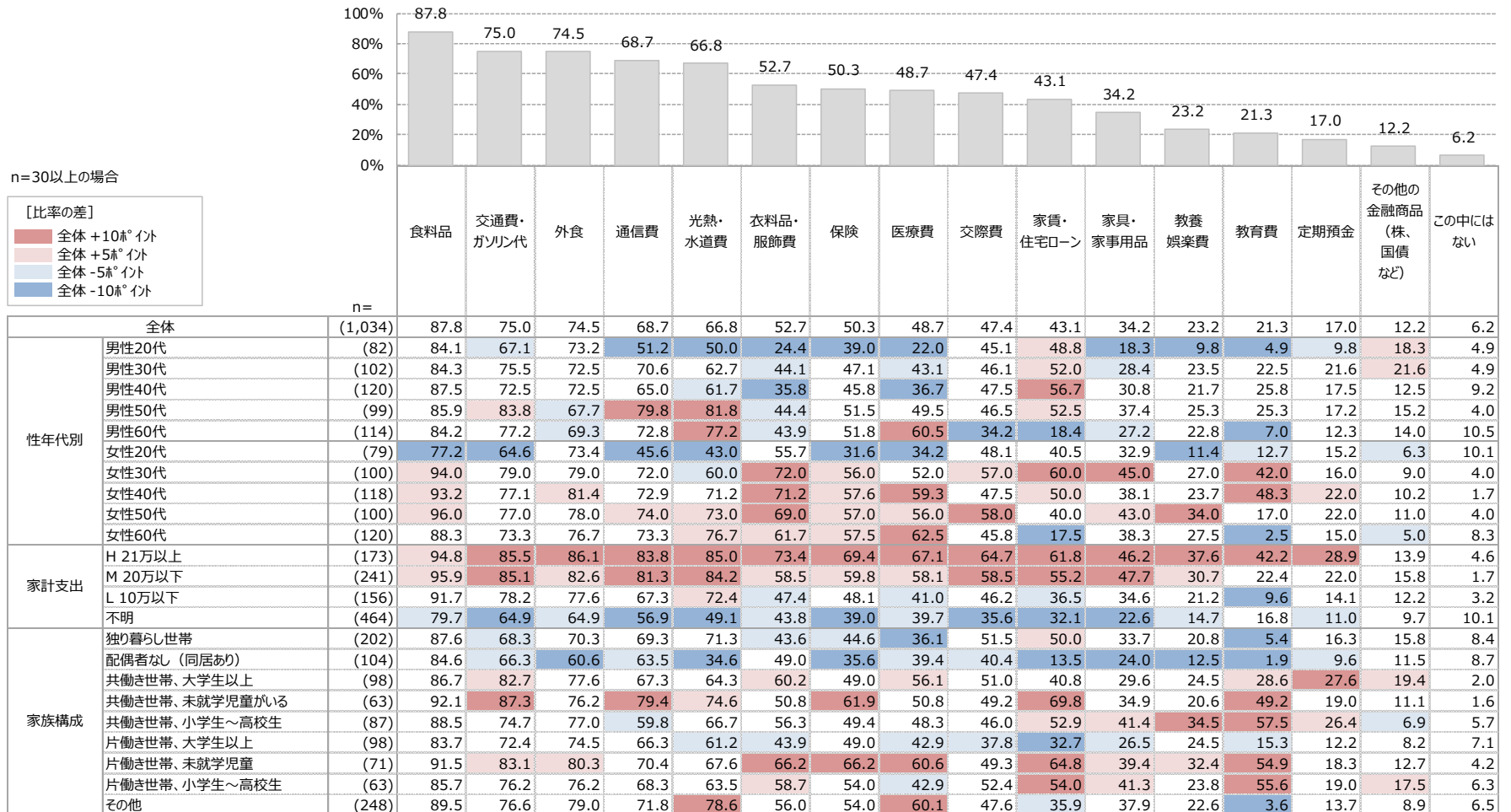


最近1ヶ月の支出状況

最近1ヶ月の支出について、「食料品」「交通費・ガソリン代」「外食」「通信費」「光熱・水道費」などが多い。

Q1 この1ヶ月にあなたがお支払いになったものをすべてお選びください。

MA



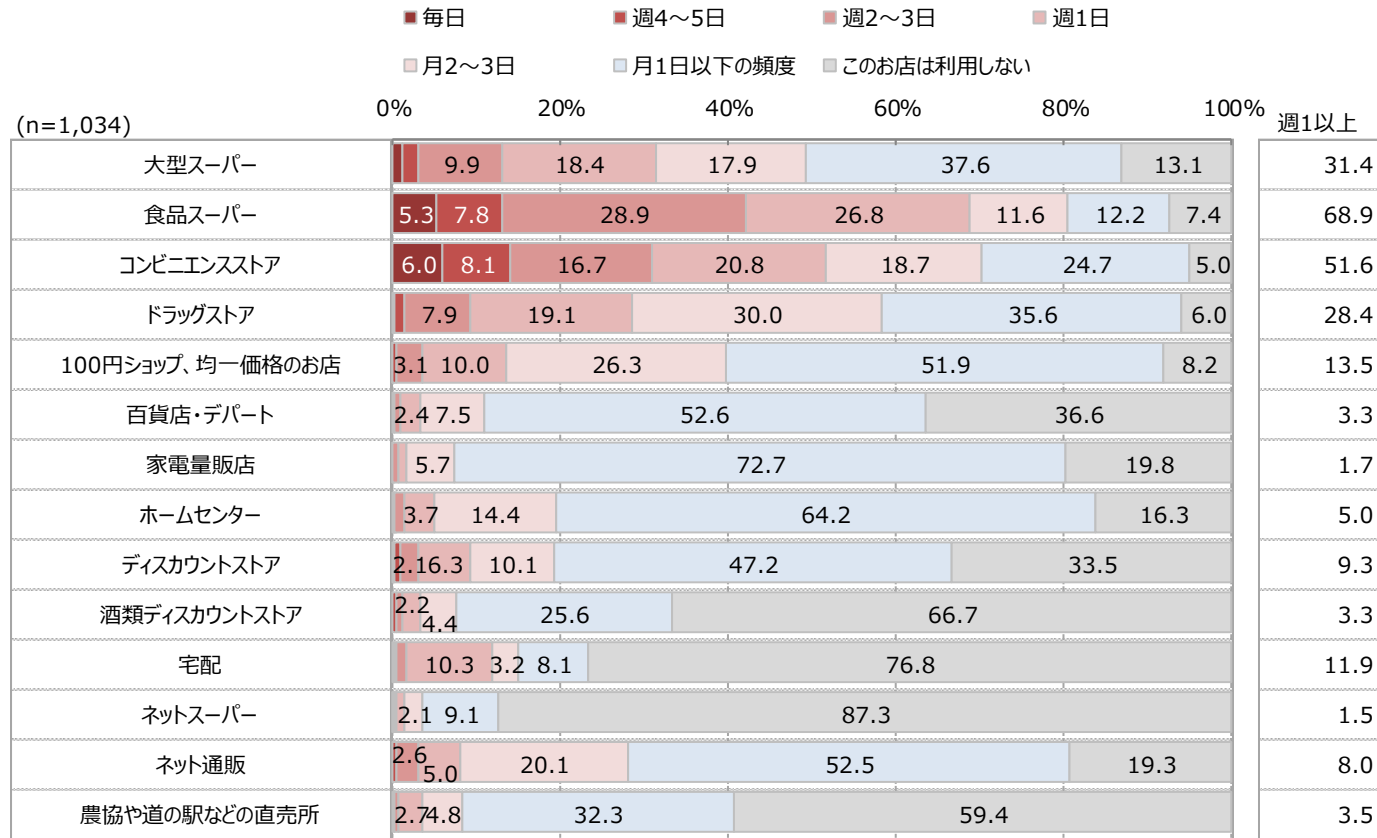
※「全体」のスコアで降順ソート

各種店舗形態の利用頻度

各店舗形態の利用頻度（週1以上）は、「食品スーパー」「コンビニエンスストア」、次いで「大型スーパー」「ドラッグストア」

Q2 あなたはふだんの生活の中で、次のお店をどのくらいの頻度で利用していますか。それぞれのお店ごとに利用頻度をお答えください。

SA



※スコア2.0%未満は非表示

※週1以上(「毎日」~「週1日」)

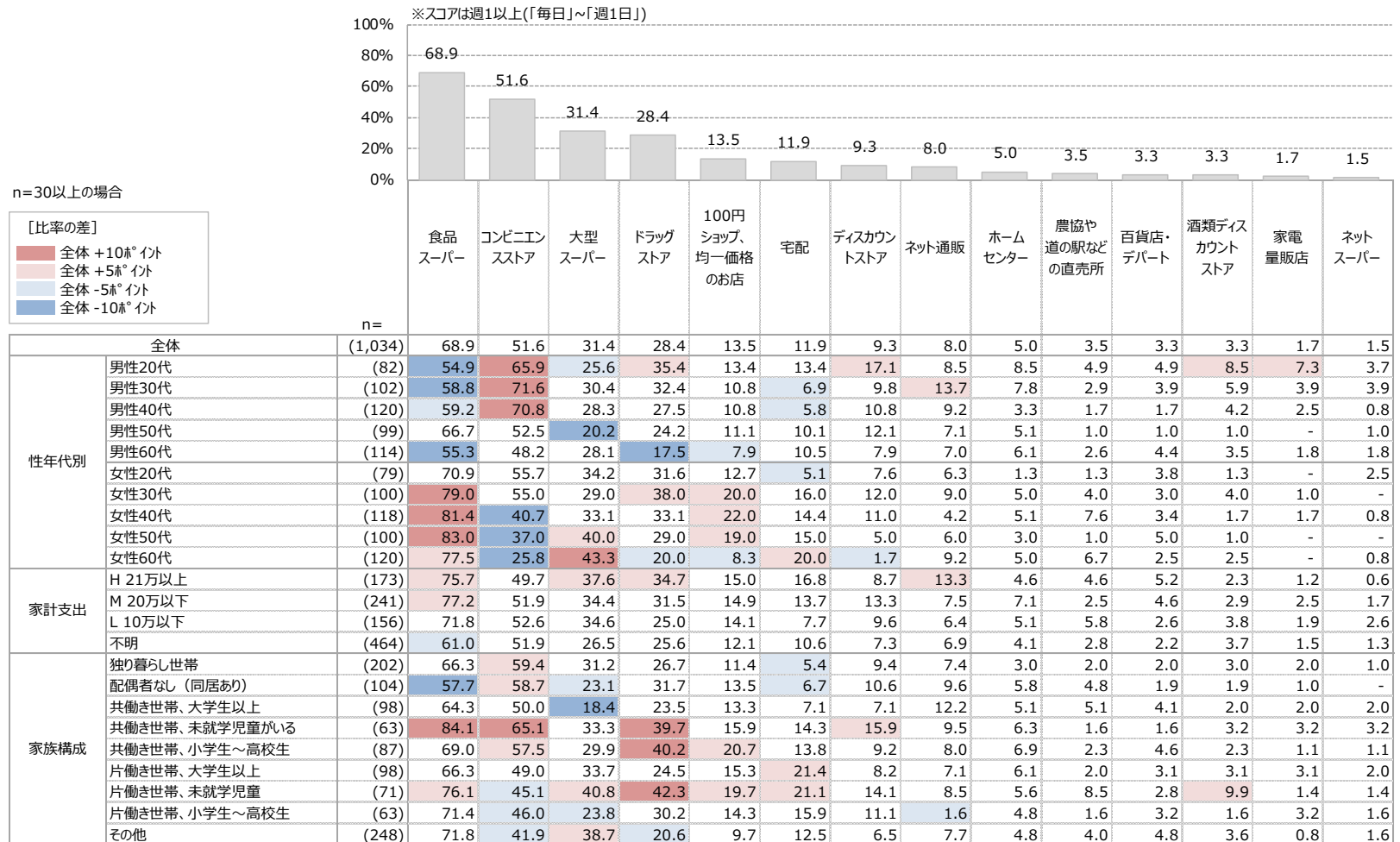
各種店舗形態の利用頻度（詳細）

各店舗形態の利用頻度（週1以上）は、「食品スーパー」「コンビニエンスストア」、次いで「大型スーパー」「ドラッグストア」。

「食品スーパー」は女性、「コンビニエンスストア」は男性の利用が多い。

Q2 あなたはふだんの生活の中で、次のお店をどのくらいの頻度で利用していますか。それぞれのお店ごとに利用頻度をお答えください。

SA

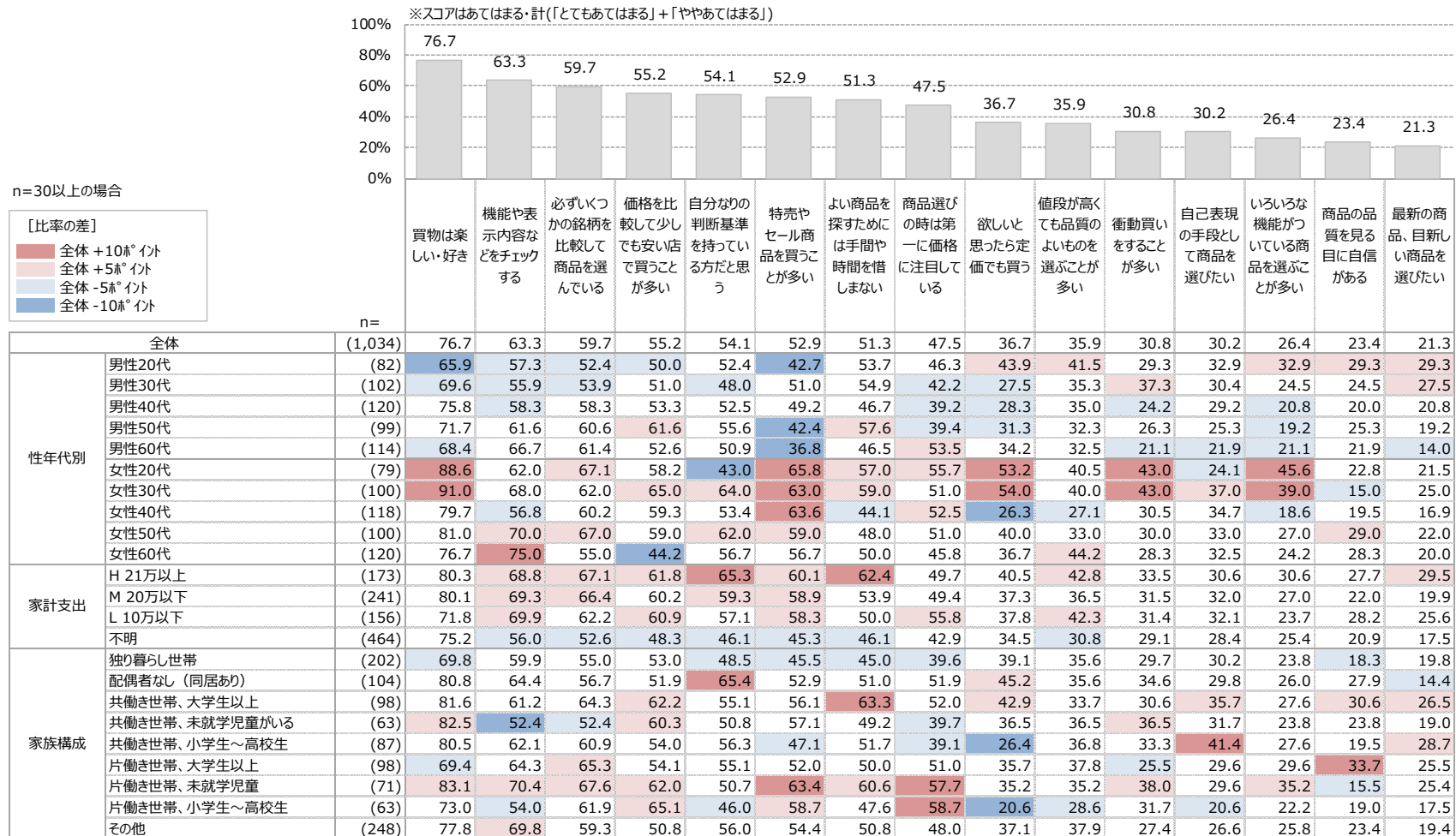


※「全体」のスコアで降順ソート

買い物に対する考え方

Q12 あなたの買物に対する考え方についてお聞きます。次の各項目について、どの程度あてはまりますか。

SA



※「全体」のスコアで降順ソート

調査票

日常生活に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いします。
当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力をお願いします。

- ①必須入力
- ※他選択肢: 16. この中ではない

Q1 この1ヶ月にあなたがお支払いになったものをすべてお選びください。
【必須入力】

- ☐ 1. 食料品
- ☐ 2. 外食
- ☐ 3. 家賃・住宅ローン
- ☐ 4. 光熱・水道費
- ☐ 5. 家具・家事用品
- ☐ 6. 衣料品・服飾費
- ☐ 7. 医療費
- ☐ 8. 交通費・ガソリン代
- ☐ 9. 通信費
- ☐ 10. 教育費
- ☐ 11. 教養娯楽費
- ☐ 12. 交際費
- ☐ 13. 定期預金
- ☐ 14. その他の金融商品(株、国債など)
- ☐ 15. 保険
- ☐ 16. この中ではない



ここで改ページ

- ①必須入力(全項目)

Q2 あなたはふだんの生活の中で、次のお店をどのくらいの頻度で利用していますか。
それぞれのお店ごとに利用頻度をお答えください。
【必須入力】

	1 毎日	2 週4~5回	3 週2~3回	4 週1回	5 月2~3回	6 月1回以下の頻度	7 このお店は利用しない
1. 大型スーパー (イトーヨーカドー、イオンなど、食品だけでなく衣料品・住関連用品をそろえているお店)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 食品スーパー (サミット、マックスバリュなど主に食品をそろえているお店)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. コンビニエンスストア (セブンイレブン、ローソンなど)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. ドラッグストア (マツモトキヨシ、セイジョー、ツルハドラッグなど)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 100円ショップ、均一価格のお店 (ダイソー、キャンドゥ、ローソンストア100など)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. 百貨店・デパート (リリコなどのファッションビルを含む)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. 家電量販店 (ヤマダ電機、ビックカメラなど)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. ホームセンター (島忠、カインズ、ジョイフルホンダなど家具、園芸用品、台所用品など 主に住関連の商品をそろえているお店)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. ディスカウントストア (常に大幅な値引きをしているお店、ドン・キホーテ、ザ・ビッグ、Bie-Aなど)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. 酒類ディスカウントストア (酒類については大幅に値引きしているお店、マインマート、カクヤス、酒のやまやなど)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11. 宅配 (生協の共同購入・宅配、らでいっしゅまーなどの食材等の宅配)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
12. ネットスーパー (イオンやイトーヨーカドーなど実店舗に店舗があるお店の宅配)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
13. ネット通販 (楽天、アマゾンなどインターネットを使って商品を購入し、 自宅まで届けてくれるサービス)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
14. 農協や道の駅などの直売所	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐



ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢: 21. この中ではない

Q3 以下の商品やサービスのうち、今年(2019年)9月までに購入を考えているものをすべてお選びください。
【必須入力】

- 【家電・デジタル製品】

 - ☐ 1. 生活家電(冷蔵庫、洗濯機など)
 - ☐ 2. テレビ
 - ☐ 3. ブルーレイレコーダー
 - ☐ 4. 携帯音楽プレイヤー
 - ☐ 5. パソコン
 - ☐ 6. タブレット端末、電子書籍端末
 - ☐ 7. デジタルカメラ
 - ☐ 8. ビデオカメラ
 - ☐ 9. 携帯電話・スマートフォン
- 【旅行】

 - ☐ 14. 国内旅行
 - ☐ 15. 海外旅行
- 【その他】

 - ☐ 16. 趣味・レジャー用品
 - ☐ 17. 資格・習い事
 - ☐ 18. 商品券
 - ☐ 19. 金融商品・定期預金
 - ☐ 20. 生命保険・損害保険
 - ☐ 21. この中ではない
- 【クルマ】

 - ☐ 10. 自動車・オートバイ
- 【住まい】

 - ☐ 11. 戸建住宅・マンション
 - ☐ 12. 家具・インテリア用品
 - ☐ 13. リフォーム

.....< ここ改ページ

- ①必須入力
- ③0_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 31. この中ではない
- 選択肢ランダムイズ : 選択肢 1-29

Q4 次の商品のうち、あなたが今年(2019年)9月までに買いためをしようと思うものがあれば、すべてお選びください。
【必須入力】

- 【食品】

 - ☐ 1. 米(白米)
 - ☐ 2. 即席めん・カップめん
 - ☐ 3. インスタントスープ
 - ☐ 4. 調味料・味噌・醤油
 - ☐ 5. 牛乳
 - ☐ 6. チーズ・ヨーグルト
 - ☐ 7. 健康補助食品・サプリメント
 - ☐ 8. チョコレート
 - ☐ 9. ガム、キャンディー、グミ、タブレット菓子
 - ☐ 10. スナック、米菓、ビスケット
- 【日用品】

 - ☐ 19. 紙おむつ
 - ☐ 20. 生理用品
 - ☐ 21. シャンプー・リンス
 - ☐ 22. 歯磨き、歯ブラシ
 - ☐ 23. ディッシュ・トイレットペーパー
 - ☐ 24. 台所・住居用洗剤
 - ☐ 25. 洗濯用洗剤
- 【化粧品】

 - ☐ 26. スキンケア品(基礎化粧品)
 - ☐ 27. ボディケア品(ボディウォッシュ、ボディクリーム、ボディシート等)
 - ☐ 28. メイクアップ化粧品
- 【飲料品】

 - ☐ 11. 水・ミネラルウォーター
 - ☐ 12. 果実飲料、炭酸飲料
 - ☐ 13. コーヒー飲料、紅茶飲料
 - ☐ 14. 緑茶飲料、無糖茶飲料
- 【衣類】

 - ☐ 29. 衣類
- 【嗜好品】

 - ☐ 15. ビール類
 - ☐ 16. チューハイ、カクテル、ハイボール缶
 - ☐ 17. インスタント/レギュラーコーヒー、インスタント/リーフ紅茶
 - ☐ 18. たばこ
- 【その他】

 - ☐ 30. その他
 - ☐ 31. この中ではない

.....< ここ改ページ

- セレクト条件 項目【1】：【Q1】で1と答えた方
- セレクト条件 項目【2】：【Q1】で2と答えた方
- セレクト条件 項目【3】：【Q1】で3と答えた方
- セレクト条件 項目【4】：【Q1】で4と答えた方
- セレクト条件 項目【5】：【Q1】で5と答えた方
- セレクト条件 項目【6】：【Q1】で6と答えた方
- セレクト条件 項目【7】：【Q1】で7と答えた方
- セレクト条件 項目【8】：【Q1】で8と答えた方
- セレクト条件 項目【9】：【Q1】で9と答えた方
- セレクト条件 項目【10】：【Q1】で10と答えた方
- セレクト条件 項目【11】：【Q1】で11と答えた方
- セレクト条件 項目【12】：【Q1】で12と答えた方
- セレクト条件 項目【13】：【Q1】で13と答えた方
- セレクト条件 項目【14】：【Q1】で14と答えた方
- セレクト条件 項目【15】：【Q1】で15と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q5 あなたがお支払いになる以下の各項目の1ヶ月あたりの金額は
今年(2019年)の10月の消費税増税以降、どのようになると思いますか。
【必須入力】

	1 大幅に 増えると思 う	2 やや増える と思う	3 今と変わら ない	4 やや減ると 思う	5 大幅に減る と思う
1. 食料品	☐	☐	☐	☐	☐
2. 外食	☐	☐	☐	☐	☐
3. 家賃・住宅ローン	☐	☐	☐	☐	☐
4. 光熱・水道費	☐	☐	☐	☐	☐
5. 家具・家事用品	☐	☐	☐	☐	☐
6. 衣料品・服飾費	☐	☐	☐	☐	☐
7. 医療費	☐	☐	☐	☐	☐
8. 交通費・ガソリン代	☐	☐	☐	☐	☐
9. 通信費	☐	☐	☐	☐	☐
10. 教育費	☐	☐	☐	☐	☐
11. 教養娯楽費	☐	☐	☐	☐	☐
12. 交際費	☐	☐	☐	☐	☐
13. 定期預金	☐	☐	☐	☐	☐
14. その他の金融商品(株、国債など)	☐	☐	☐	☐	☐
15. 保険	☐	☐	☐	☐	☐

①必須入力

Q6 今年(2019年)の10月から消費税の税率が現行の8%から10%に上がることが予定されています。
あなたは変更の「時期」と引き上げられる「税率」についてご存知でしたか。あてはまるものを教えてください。
【必須入力】

- ☐ 1. 「時期」と「税率」の両方を知っていた
- ☐ 2. 「時期」だけ知っていた
- ☐ 3. 「税率」だけ知っていた
- ☐ 4. 「税率」が上がることだけ知っていた
- ☐ 5. どちらも知らなかった

①必須入力(全項目)
項目ランダム化：項目 1-7

Q7 消費税増税に関する政府の各種対策について、あてはまるものをお選びください。
【必須入力】

	1 内容ま でよく知 っている	2 聞いた ことがある 程度	3 知ら ない
1. 幼児教育・保育無償化	☐	☐	☐
2. 軽減税率制度(飲食料品・新聞の消費税8% 据え置き)	☐	☐	☐
3. 低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券	☐	☐	☐
4. 住宅購入に対する補助(エコポイント付与、住宅 ローン控除の適用期間の延長)	☐	☐	☐
5. 増税後に購入した自動車への自動車税引き下 げ等、自動車関連減税	☐	☐	☐
6. キャッシュレスポイント還元(中小小売業利用時)	☐	☐	☐
7. マイナカード活用プレミアムポイント	☐	☐	☐

- ①必須入力(全項目)
- 項目ランダムマイズ : 項目 1-7

Q8 以下の各種増税関連施策について、利用(活用)したいと思いますか。
それぞれ最もあてはまるものをお選びください。
【必須入力】

	1 利用をしたい と思う 具体的に制度を調べたり 購入の計画を立てている	2 利用をしたいと思うが 具体的な制度の利用方法は 調べていない	3 対象者であれば利用したい と思う(自身が対象者かどうか わからない)	4 利用対象者であるが 利用したいと思わない	5 利用したいと思わない 自身が対象者かどうか わからない	6 自身は対象ではない	7 わからない
1. 幼児教育・保育無償化	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 軽減税率制度(飲食料品・新聞の消費税率8%引き 置き)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. 低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. 住宅購入に対する補助(エコポイント付与、住宅 ローン控除の適用期間の延長)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 増税(割)に購入した自動車への自動車税引き下げ 等、自動車関連減税	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. キャッシュレスポイント還元(中小小売業利用時)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. マイナ/バーカード活用プレミアムポイント	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

- セレクト条件 項目【9】 : (SEX == 1) && (SEX == 2)
- セレクト条件 項目【10】 : (SEX == 1) && (SEX == 2)
- セレクト条件 項目【11】 : (SEX == 1) && (SEX == 2)
- ①必須入力(全項目)

Q9 以下のキャッシュレスサービスについて、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。
【必須入力】

	1 週に1回以上 利用している	2 月に1回以上 利用している	3 利用した ことがあるが あまり利用 していない	4 興味はあるが 利用した ことはない	5 名前を知 っている/ 聞いたこ ろがある程 度	6 このサー ビスは知 らない
【QRコード・バーコード決済】						
1. LINE Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 楽天ペイ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. PayPay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. Origami Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. メルペイ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. ぢ払い	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. au Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. ゆうちょPay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. J-Coin Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. 7Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11. Amazon Pay	☐	☐	☐	☐	☐	☐
【電子マネー】						
12. Suicaなどの交通系電子マネー(電車・バス等交 通での利用)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
13. Suicaなどの交通系電子マネー(商品の購入な ど、交通以外での利用)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
14. ID・楽天Edy・nanacoなどの電子マネー	☐	☐	☐	☐	☐	☐
【クレジットカード】						
15. クレジットカード	☐	☐	☐	☐	☐	☐

- ・ セレクト条件 1_FA-15_FA : Q9項目【1】-【15】で3,4と答えた方
- ・ ①必須とする(全てのFA欄)
- ・ 回答参照:【Q9S1】
- ・ 回答参照:【Q9S2】
- ・ 回答参照:【Q9S3】
- ・ 回答参照:【Q9S4】
- ・ 回答参照:【Q9S5】
- ・ 回答参照:【Q9S6】
- ・ 回答参照:【Q9S7】
- ・ 回答参照:【Q9S8】
- ・ 回答参照:【Q9S9】
- ・ 回答参照:【Q9S10】
- ・ 回答参照:【Q9S11】
- ・ 回答参照:【Q9S12】
- ・ 回答参照:【Q9S13】
- ・ 回答参照:【Q9S14】
- ・ 回答参照:【Q9S15】

①10 前問の各項目で「利用したことがあるが、あまり利用していない」または、「興味はあるが、利用したことはない」とお答えになった理由についてお書きください。
【 全て必須 】

LINE Pay【【Q9S1の選択内容】】
理由: _____

楽天ペイ【【Q9S2の選択内容】】
理由: _____

PayPay【【Q9S3の選択内容】】
理由: _____

Origami Pay【【Q9S4の選択内容】】
理由: _____

メルペイ【【Q9S5の選択内容】】
理由: _____

d払い【【Q9S6の選択内容】】
理由: _____

au Pay【【Q9S7の選択内容】】
理由: _____

ゆうちょPay【【Q9S8の選択内容】】
理由: _____

J-Coin Pay【【Q9S9の選択内容】】
理由: _____

7Pay【【Q9S10の選択内容】】
理由: _____

Amazon Pay【【Q9S11の選択内容】】
理由: _____

Suicaなどの交通系電子マネー(電車・バス等交通での利用)【【Q9S12の選択内容】】
理由: _____

Suicaなどの交通系電子マネー(商品の購入など、交通以外での利用)【【Q9S13の選択内容】】
理由: _____

ID・楽天Edy・nanacoなどの電子マネー【【Q9S14の選択内容】】
理由: _____

クレジットカード【【Q9S15の選択内容】】
理由: _____

..... ✂ ここまで改ページ

- ・ ①必須入力(全項目)

①11 以下は、キャッシュレスポイント還元制度の詳しい説明です。
この文章をお読みになって、以下の各キャッシュレスサービスについてあてはまるものをお選びください。
【 必須入力 】

▼ 以下のコンセプトをご覧ください。 ▼

キャッシュレスポイント還元制度とは

消費者が中小店舗で商品やサービスを購入する際に、
キャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など)にて代金を支払った場合、
購入額の最大5%のポイントが付与される制度です。

※ポイント還元を利用できる対象は、
「QRコード・バーコード決済」「電子マネー」「クレジットカード」で、
日本円でチャージ可能・日本の金融機関の口座を利用できるサービスのものです。

	1 利用したいと思う	2 やや利用したいと思う	3 どちらでもない	4 あまり利用したいと思わない	5 利用したいと思わない
1. QRコード・バーコード決済 (楽天ペイ、LINE Pay、PayPayなど)	→ ○	○	○	○	○
2. 電子マネー (Suica、ID、楽天Edy、nanacoなど)	→ ○	○	○	○	○
3. クレジットカード	→ ○	○	○	○	○

..... ✂ ここまで改ページ

【第2部】

消費税増税に関するソーシャルデータ分析

2019年5月実施

調査概要

■ 調査目的

- インターネット上で発信されているクチコミやブログから、増税に関する話題数および発言内容より一般消費者より持たれているイメージや内容を把握することによって定量的かつ定性的に現状を理解する。

■ 調査手順

- 1) 対象キーワードを設定し、対象プラットフォーム上のクチコミを収集
- 2) 不要なワード・クチコミ排除のため、データクリーニングを繰り返し実行
- 3) 分析ツールを主軸にデータ解析とグラフの作成
- 4) 上記結果の要約・整理

■ 調査対象

- 対象プラットフォーム：Twitter / ブログ / 掲示板・フォーラム / ニュース
- 対象ワード：「消費増税」もしくは「増税」かつ「消費税」を含む
- 対象言語：日本語
- データ収集期間：2012/1/1 ~ 2019/5/17(アンケート調査回収終了日)

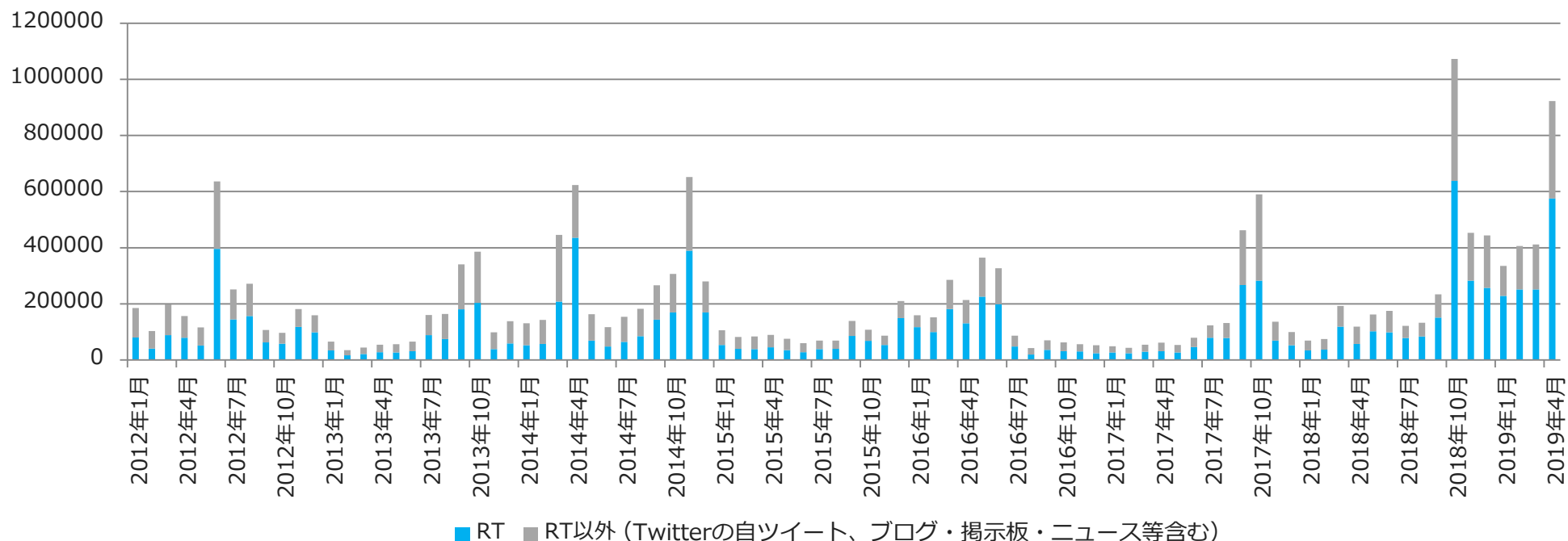
■ 注意点

- 本レポートの数値はレポート作成時において弊社利用システムにより取得可能であった投稿のみを利用しています。調査対象は過去データ含むTwitter上の公開投稿およびブログ・掲示板などからのデータであり非公開および削除された投稿は含みません。
- 最善を尽くしてはおりますがシステム上インターネット上のデータを一部取得できない場合があるため、対象プラットフォームにおきましても100%のデータ取得の保障はしかねます点、ご了承ください。
- データクリーニングの際にbotと思われる情報や無関係と思われる投稿は可能な限り削除しています。
- 投稿の抜粋に関し、投稿の著作権等は投稿者に帰属しておりますので公開はご遠慮ください。

分析結果

話題量推移

▼月別話題数推移：17,779,405件（期間：2012/1/1～2019/4/30）*5月分は1か月に満たないため除く
 ↳内TwitterのRT（リツイート）件数：10,123,156件 ― 全体の56.9%

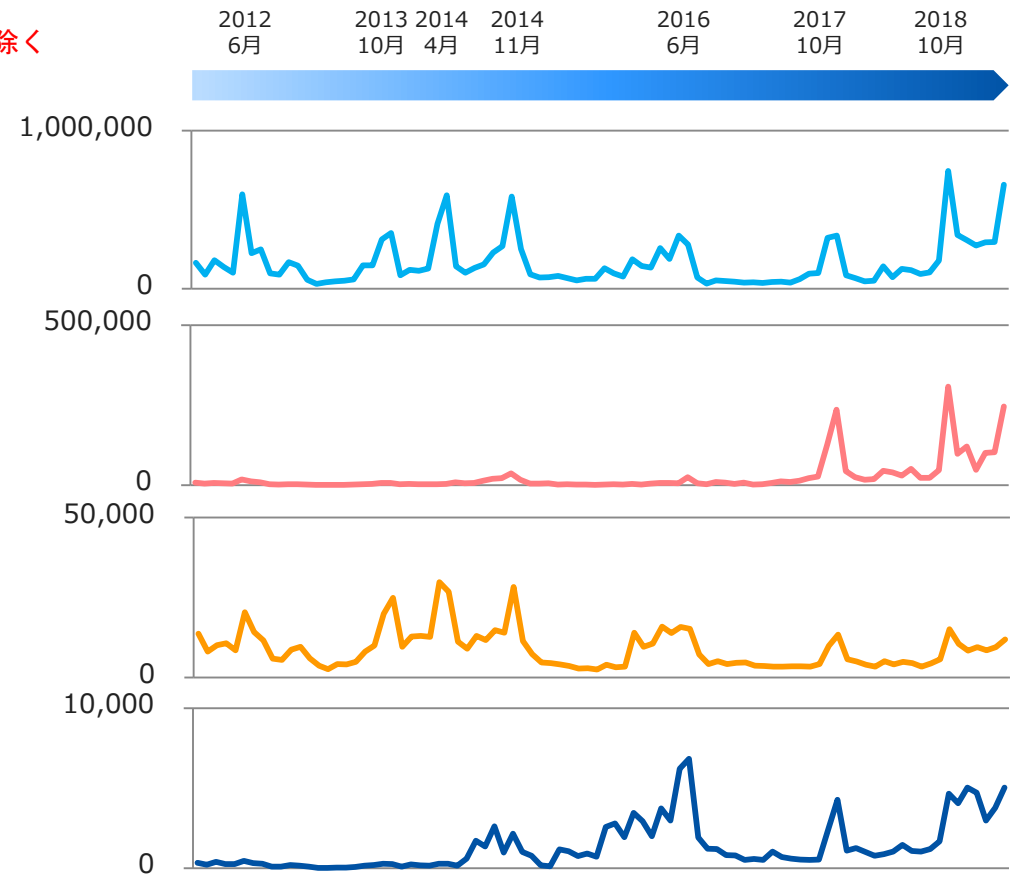
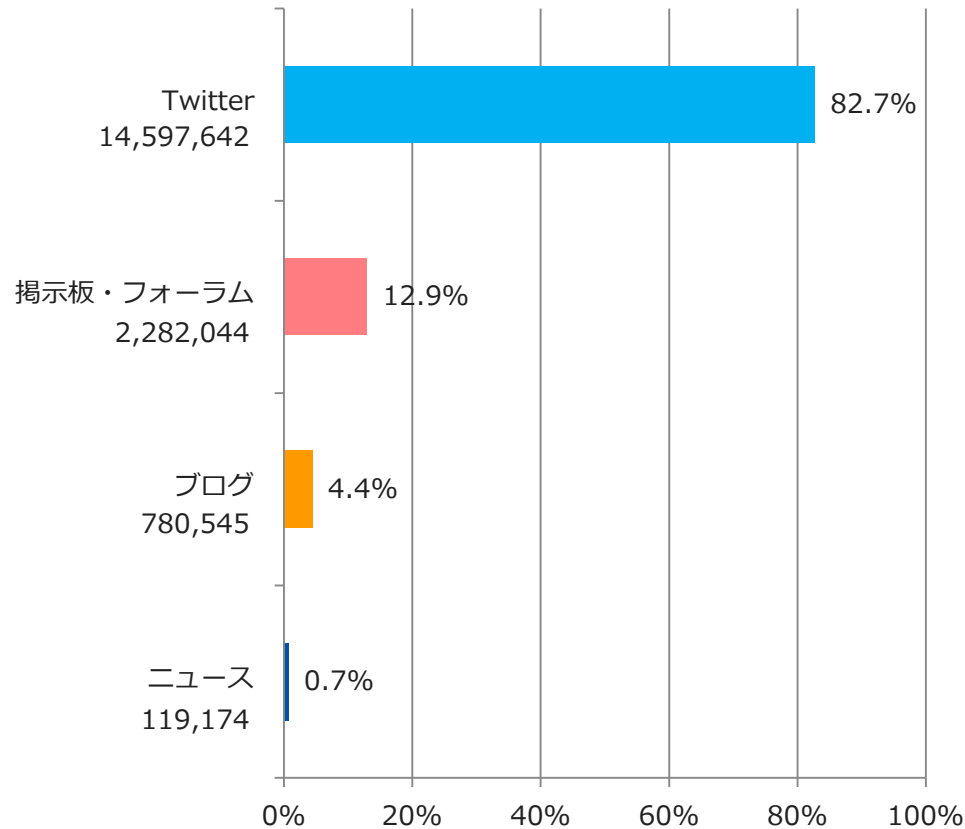


- ・ 2012年頃より消費税増税に関する話題は、政策としてメディアに取りあげられる度に一定量の投稿がソーシャル上ではされており、特に、消費税増税について閣議発表されたニュースの際や、実際に消費税アップが行われた際などに話題として跳ね上がる傾向にある（例：2014年4月の5%⇒8%への増加時など）
- ・ 期間内にて最も投稿が多かったのは2018年10月で、消費税に関する世論調査の結果やニュース番組に対する不満を表す投稿がRTを含め多くなされていた

メディア別投稿数

▼メディア別話題数：

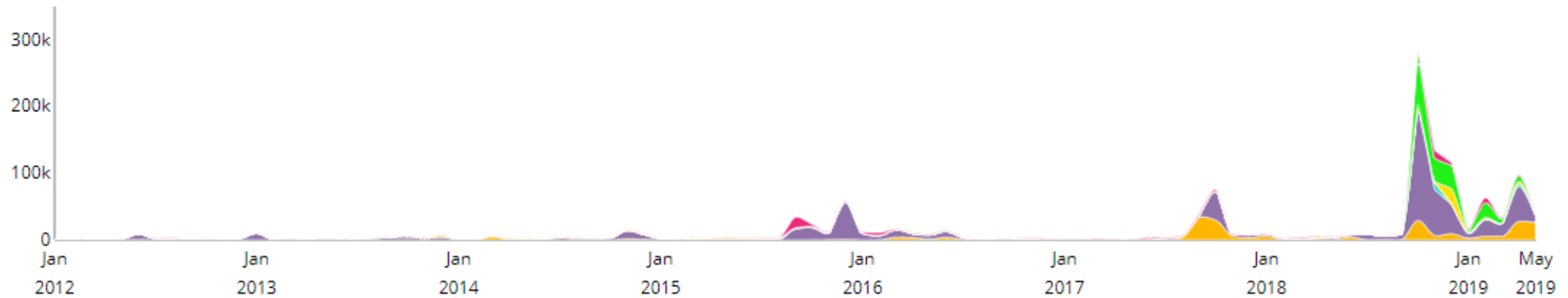
└期間：2012/1/1～2019/4/30 *5月分は1か月に満たないため除く



- ・ ソーシャル投稿のメディア別では、Twitterが最も多く82%を超え、次に掲示板・フォーラム、ブログと続く
- ・ 投稿数推移を時系列で並べてみると、投稿総数自体は違うものの、どのメディアにおいても同テーマの議論が多く波形としては近しい形をとっていることが見受けられる

軽減税率関連施策トピック別投稿数推移

※施策関連投稿は全体の7.5%で下記はその内訳を表しています



1_ 幼児教育／保育無償化	17.5 %	
2_ 軽減税率制度	53.4 %	
3_ 低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券	1.7 %	
4_ 住宅購入に関する補助	0.366 %	
5_ 自動車関連減税	6.53 %	
6_ キャッシュレスポイント還元	13.8 %	
7_ マイナンバーカード活用プレミアムポイント	6.68 %	

最もRTされた投稿トップ10

1

18,000+

小池公約「消費税対応」→増税しないとは言っていない「原発ゼロへの工程表」→原発止めるとは言っていない「憲法改正」とは言っていない情報に強く刺さるキーワード羅列のマーケティング的に完璧な公約。キーワードで認知する層にはロジックでの説得は効果ない。小池はよく分かっている

2017/09/26 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

2

17,000+

消費税増税ってことわ、100均のもの800円になるんやろ！？ もう誰もダイソー行かんやろ！！

2013/10/02 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

3

16,000+

10月に消費税が10%に増税するのに伴って始まる軽減税率制度に対応した桃太郎まんが ①/② <https://t.co/9lXK3Qmylv>

2019/04/26 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

4

15,000+

：不思議だなぁ。高橋容疑者を、今日まで泳がせておいて、今日のダイニングで逮捕するって。これでテレビは、オウムの報道だけになる。しかし「原子力規制法案の可決」と「消費税増税法案」の期日。毎度、みえみえな、目くらましの逮捕劇に、うんざりして...

2012/06/18 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

5

15,000+

消費税増税をコンビニのレジの反対側から見ると、<http://t.co/bkK14DFNky> こういう視点があるのが今の政治には全くないです。想像力の問題なんだけど、目の前に「どん」と置かれればそれすら見えない。広く読まれてほしいエントリーです。

2014/03/31 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

6

14,000+

4月1日よりの消費税増税に際して、15歳以下の子ども1人に対して1万円が政府より現金支給されます。住んでいる市・区役所に申請するだけ。こういうの、政府はわざと宣伝しません。該当する保護者は是非とも使って受け取って下さい。拡散希望です。
<http://t.co/4LKl0mfoKy>

2014/03/26 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

7

14,000+

ゴーン前会長を永久に東京拘置所から出し入れし続けることで無限に湧き出した保釈金が国庫に繰入られ消費税が増税が回避される裏技。

2019/04/25 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

8

14,000+

増税もするし、障害者代もゼロにするし、医療費負担や介護費負担も思いっきり増やすし、年金支給も75歳まで先送りするし、おまけに死亡消費税までいただきたいやうけど、君たち愛国者だろ？ これぐらいの覚悟、ゆるしてくれよなw <https://t.co/XjOkqYTXt>

2015/10/25 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

9

14,000+

日本は消費税を0%にするべきだと思う。日本には源泉徴収制度があるのだから消費税は必要ない。少なくとも増税し始めてから福祉が全く長くなっていない。大企業に減税をしている限りは消費税を取るのには犯罪。消費税制度は貧乏人からも大企業からも同じ税金を取るのだから、とても不平等な制度である。

2018/10/14 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

10

11,000+

小泉進次郎「消費税増税をしるしと言ってる新聞が消費税を負担しないんですよ、これおかしくないですか？ テレビもいるんならどこで付加があるのか報道しないんですよ村尾さんよろしくお願ひしますよ」村尾キャスター「(苦笑) いやこれマスゴミ批判GJ過ぎるwww

2017/10/22 お気に入り リツイート 応答

リツイートされた投稿を開く

頻出用語分析

#	単語	頻度	#	単語	頻度
1	消費	14,650	51	軽減	557
2	増税	14,396	52	金	550
3	税	10,420	53	中	546
4	円	2,595	54	使う	538
5	安倍	2,357	55	net	530
6	日本	1,931	56	予定	526
7	国民	1,696	57	税収	501
8	経済	1,673	58	増	498
9	政権	1,514	59	性	489
10	税率	1,485	60	億	482
11	反対	1,318	61	来年	478
12	社会	1,302	62	率	477
13	首相	1,244	63	選	472
14	的	1,147	64	財源	471
15	景気	1,116	65	法案	469
16	保障	1,083	66	予算	452
17	財政	1,072	67	年金	443
18	大	1,055	68	ニュース	439
19	財務省	1,016	69	デフレ	430
20	兆	1,000	70	会	424
21	化	989	71	見る	421
22	選挙	933	72	名無し	415
23	政府	876	73	賛成	415
24	企業	861	74	投稿	412
25	民主党	840	75	増える	409
26	政策	836	76	考える	401
27	自民党	805	77	tpp	400
28	原発	794	78	層	398
29	延期	790	79	導入	397
30	政治	787	80	内閣	396
31	所得	762	81	凍結	395
32	負担	758	82	値上げ	391
33	減税	749	83	影響	379
34	費	736	84	野党	379
35	再	698	85	引き上げる	377
36	後	671	86	2018	376
37	引き上げ	666	87	以上	376
38	対策	662	88	いく	375
39	野田	661	89	検討	375
40	アベノミクス	658	90	上がる	374
41	国	658	91	支持	370
42	総理	637	92	国会	367
43	必要	632	93	還元	366
44	生活	604	94	自民	363
45	法人	602	95	金融	361
46	問題	599	96	法	349
47	議員	589	97	新聞	347
48	上げる	561	98	改革	338
49	党	560	99	税金	338
50	回	559	100	公約	336

※全投稿の中より10,000件をランダムサンプリングしたものより抽出



- ・増税に関する話題では、政府の政策をともに批判（擁護も一部）するような投稿が多く、その時期の総理大臣の名前などが多く一緒に投稿される

▶ 幼児教育／保育無償化

・ふと思ったんですけど、消費増税と、幼児教育の無償化をトレードする戦略を思いついたのは、どこの誰なんでしょう？これ、凄く巧妙なスキームです。長期的に見れば、専業主婦の方が仕事に復帰しやすい環境を整え、結果として消費支出も増やす、よく考えたものだ。

・でも無料にしたら、無料で預けれるんやったら預けよーみたいな流れが増えて、保育園足りない、ブラック環境増長とか考えられるけど、なんか手打ってるんやろか？

・幼児教育の無償化は正直嬉しい。でも＝消費増税となると何か違う気がします。増税はもはややむを得ないというほど、税の使いかたを見直してあるのでしょうか。増税はいつも、無駄を削いでからの最後の手段であってほしい。

▶ 軽減税率制度

・軽減税率とかのクソめんどくさいシステムを導入するくらいなら、消費増税をやめて、同額を他で取るほうがはるかにマシ。

・軽減税率を止めれば一兆円の財源が出る。幼保無償化は年約8000億。消費増税ストップでも1年は財源確保できる。

・消費税増税して今の計画の軽減税率方式をやると、めんどくささが増える＝人的にも社会資本的にもコストが増える＝トータルで浪費＝税収は長期的にみて減る、、、っていうのがなぜ分からないか。というか、めんどくさいから軽減税率やらないで良いというトレンドに持っていきたいんだろうね。

・消費税の軽減税率は食材には適用されますが、外食には適用されません。意外だったのは、テイクアウトにも軽減税率が適用されること。うちはよく寿司などの宅配を頼むのでありがたいですね。酒類は増税。これを機会に夏のビールやめようかな。

▶ 低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券

・おや？もしかして我が家は消費税増税時のプレミアム商品券の対象になるのか？くれるならもらうけど、正直、こんな事にコストかけるのは非効率だよなぁ

・大学の無償化だとか、消費増税のプレミアム商品券だとかっていう政策、低所得者のことを「朝三暮四」の猿か何かだと勘違いしているような気がして腹立たしい。

・消費税増税対策のプレミアム商品券？軽減税率？ポイント還元？そんなことするなら増税やめて。また国の借金が増える。日本の借金1000兆。そもそも国会議員、人数も収入も多すぎる。まずはそこからでしょ？選挙しか頭にないのだから始末に終えない。

▶ 住宅購入に関する補助

・消費増税後の住宅購入補助金はその人の年収で決まるため、駆け込みで買う人と増税後補助で買う人の間で微妙な年収バレーに起因するなんかイヤな感じが発生しているそうです

・前回の増税時も一時的に市場が冷え込みましたよね。増税分を補えたとしても、消費マインドはどうなのか。注目しています。住宅ローン控除の3年間延長は、消費増税分を補えるのか <https://t.co/Pa5a0cFPcE>

・タダのパフォーマンスじゃないコトを祈る。RT @manekineko_gihu 2019年版住宅エコポイントの概要が発表になった。税務署から軽減税率の説明パンフも以前届いた。消費増税を中止するなら、早くしないと余計な経費ばかりかかってしまう。安倍氏の決断が選挙前のギリギリのタイミングにならない事を願う。

投稿ピックアップ (文章は一部抜粋)

▶自動車関連減税

・高速道路は、他国の多くが無料で、ガソリンは、リッターあたり50円以上が税金で、消費税を上乗せの二重課税。公務員給与は、他国の2倍近く、他国には特別会計なんてない。RT★ありえない日本の自動車税。これに更に増税する。

・自動車取得税廃止で負担軽減するの口

来年10月消費税が10%に上げられる予定です。その時自動車取得税は廃止される事になっていますが 新たに自動車税等の環境性能割という課税が
👉これでは消費税増税分を含めるとユーザーの負担軽減にはなりません#
ドライバーは高額納税者

▶マイナンバーカード活用プレミアムポイント

・野党は、本気で消費増税を止めさせようとは思っていないんですね。つて言うか、国のことを大事に思っていない。思ったら、統計問題ばかりやらずに、本丸の消費増税、軽減税率に攻め込むはず。明日の総務委は、前半は統計不正に決着を付け、後半は消費増税、外国人、マイナンバーに連打を浴びせます。

・消費増税反対！！

マイナンバー厳格化で不法滞在取り締まり、特別永住資格取り消し！
国内のお金の量をもっと増やして優秀な人材の流出を止めて下さい！

・消費税増税なんて、マイナンバーなくてもできんじゃん。そっちで成果出してから増税検討して欲しいわ。

・これが消費税増税の狙いなのは理解していますが、是非マイナンバーカードや在留カードを持ってる人に還元される制度にしてほしい。
それを反対するのは共産党ぐらいでしょうから…。
即ち国益に繋がりますから、是非実現させてほしいです。

▶キャッシュレスポイント還元

・大洗でキャッシュレス決済導入による支払いで楽になるのはよいけど、paypayよりORIGAMIの方を個人的には使いたい。

・消費税増税を大きく否定はしないがストップの方がありがたい。増税して国民生活に還元は無い。ポイントでカバーするとは言っても年配の方々はキャッシュレスも使い方に苦戦するだろし、大阪のように徹底的にコストカットの努力を国政がしてるようには思えん。ただの増税で国会議員がウハウハは悲しい

・キャッシュレス決済があたかも良いことだらけのように書かれてることに不信感を覚えるのは僕だけか。例えばこれ消費増税しまくったらいくらか確認できないか？元からこの値段ですってなりそう。

・キャッシュレスの方が楽だしいいのかなあとは思いますが、どうなるんですかねえ

・キャッシュレスを進める事自体は良いと思う。
だけど普及してないモノをベースに消費税増税対策を行うのは違うと思う。
普及率が低いと思われる地方の方が消費税増税ダメージが大きくなるから。
とりあえず増税凍結して、キャッシュレスとポイントによる補助は今後できる土台を作ってからじゃね。

・キャッシュレス化を広める良いきっかけになるのでとても良い。70%はかなりインパクトがあって食いつきやすい。ゴールデンウィークかつ10月から消費税増税ってのもあって機会もちょうど良いし。

・どの店が、どの電子マネーで還元が受けられ、それはどの商品をどの様な形(持ち帰りか？等)で購入した場合か ポイントは何時まで有効で、どこで使える？ そんな面倒な事を考えながら買い物をしたくないです

・消費税増税は、スタグフレーション対策にはなるでしょう。しかし、やり方が良くないでしょう。キャッシュレス化との一石二鳥を狙ってポイントで還元するのでしょうか、不公平感を招き面倒ですよな。



株式会社マクロミル

コミュニケーションデザイン本部

広報ユニット

TEL : 03-6716-0707